



# 宮崎市スポーツ推進計画

---

【中間見直し】

2020-2024



令和2年3月

## 宮崎市スポーツ推進計画(中間見直し)の策定にあたって



本市では、平成27年3月に、10年間の計画期間とする「宮崎市スポーツ推進計画」を策定し、この計画に基づき、子どもから高齢者まで全ての市民が豊かなスポーツライフを実現できるよう、多方面から幅広くスポーツ施策に取り組んでおります。

国の「スポーツ基本法」では、「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠のもの」、「スポーツは、人と人との交流及び地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するもの」などスポーツの価値や意義などが示されており、新たな時代に即したスポーツ施策の推進が強く求められています。また、今後、東京オリンピック・パラリンピックが開催されることにより、国内のスポーツ界の発展に大きく寄与することが期待されております。

本市においては、「市民が主役の市民のためのまちづくり」の理念のもと、自分たちが住む地域は自分たちでつくるという意識を持って、主体的にまちづくりに参加する「市民が主役」のまちづくりを推進しています。その中で、本市においても、スポーツを通じた人と人とのきずなづくりや仲間づくり、生きがいつくりなど、スポーツの持つ役割は多岐にわたると考えております。

このような背景や状況を踏まえながら、平成29年3月に策定されました国の「スポーツ基本計画」を参酌し、「第五次宮崎市総合計画」を上位計画として、この度、今後5年間に本市が取り組むスポーツ施策や具体的取組を示した「宮崎市スポーツ推進計画(中間見直し)」を策定いたしました。地域主体の市民スポーツの推進や子どもたちの体力向上から競技力向上、そして宮崎らしさを特色としたスポーツ都市づくりなどが盛り込まれており、今後5年間も、引き続き豊かなスポーツライフの実現と活力あるスポーツランドみやざきの創出の実現に努めていく所存でございます。

最後に本計画の中間見直しにあたり、専門的な知見やご経験からご審議いただきました宮崎市スポーツ推進審議会の委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆様並びに関係機関各位に心から感謝申し上げます。

令和2年3月

宮崎市長 戸 敷 正

# 目次

## 第1章 スポーツ推進計画の見直しにあたって

1. 見直しの背景・趣旨.....	2
2. 計画の性格.....	2
3. 計画期間と区域.....	2
4. 計画の位置付け.....	3
5. 計画の構成.....	3

## 第2章 宮崎市のスポーツを取り巻く環境

1. 社会情勢の変化と本市の動向.....	6
2. 市民の運動・スポーツに関する調査概要.....	7
3. 市民の運動・スポーツに関する調査結果.....	8
(1)市民の運動・スポーツ実施率とその種目.....	8
(2)総合型地域スポーツクラブの認知度.....	9
(3)高齢者の運動・スポーツ実施率とその種目.....	12
(4)スポーツ施設へのニーズ.....	13
(5)地域でのスポーツイベント等についての状況.....	14
(6)スポーツキャンプへの関心度.....	15
(7)障がい者スポーツの状況.....	16
(8)児童生徒の運動・スポーツの実施状況及び種目への関心度.....	17
(9)スポーツボランティアの状況.....	21
(10)運動・スポーツに関する情報収集の状況.....	22
(11)スポーツ推進委員の状況.....	23

## 第3章 中間年度の課題と今後の取組

◆宮崎市スポーツ推進計画の体系図(中間見直し).....	26
1. 本市の運動・スポーツに関する課題と今後の取組.....	28
2. 中間年度の成果指標到達状況と見直し.....	46
3. 今後、重要となるキーワード.....	50

## 第4章 今後5年間の計画の推進に向けて

1. スポーツ推進体制の整備.....	56
2. 計画の推進体制.....	57
3. 計画のチェックとローリング.....	57

## 参考資料

宮崎市スポーツ推進計画の策定体制.....	60
宮崎市スポーツ推進審議会委員名簿.....	61
審議経過.....	62
宮崎市スポーツ推進審議会条例.....	63
宮崎市スポーツ施策推進会議設置要綱.....	65

## 第1章 スポーツ推進計画の見直しにあたって

---

## 1. 見直しの背景・趣旨

国においては、平成27年10月にスポーツ行政を一元的に行う「スポーツ庁」が設置され、平成29年3月には「第2期スポーツ基本計画(以降「国の計画」と表記)」の策定、県においては、令和元年に「宮崎県教育振興基本計画」が策定されました。

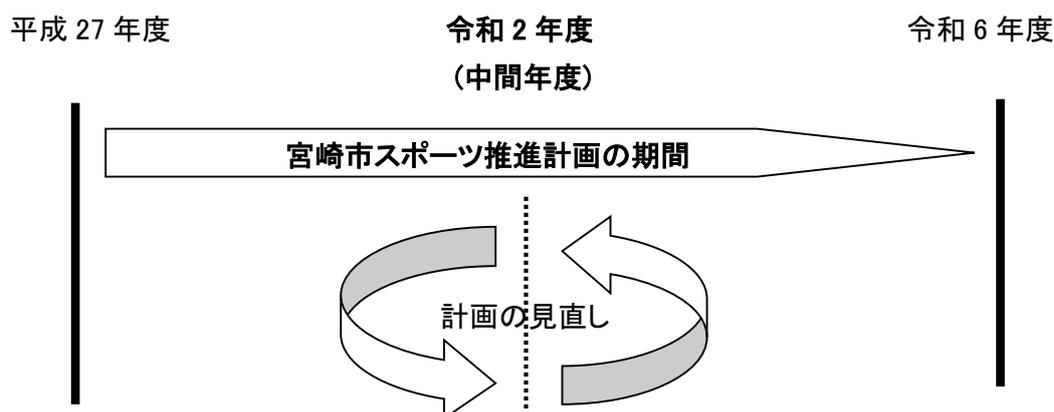
本市では、市民一人ひとりが、生涯にわたり、気軽に運動・スポーツ<sup>注1)</sup>を楽しめるスポーツライフを実現するとともに、活力あるスポーツランドみやざきの推進を図るため、平成27年3月に「宮崎市スポーツ推進計画(以降「本計画」と表記)」を策定し、施策を展開してきましたが、社会情勢や本市のスポーツを取り巻く環境の変化等を踏まえ、本計画の中間年度に見直しを行いました。

## 2. 計画の性格

本計画は、国の計画等の趣旨を踏まえ、市の上位計画となる「第五次宮崎市総合計画」や関連計画との整合性を図りながら、今後5年間の本市の運動・スポーツに関する基本方針や施策を定め、本市の特色を生かした計画とします。

## 3. 計画期間と区域

本計画は、平成27年度を初年度とし、令和6年度を目標年度とする10年間の計画とします。計画の対象区域は現市域としますが、周辺市町との連携にも留意するものとし、社会経済の情勢等も考慮しながら、本計画の見直しを中間年度に行いました。



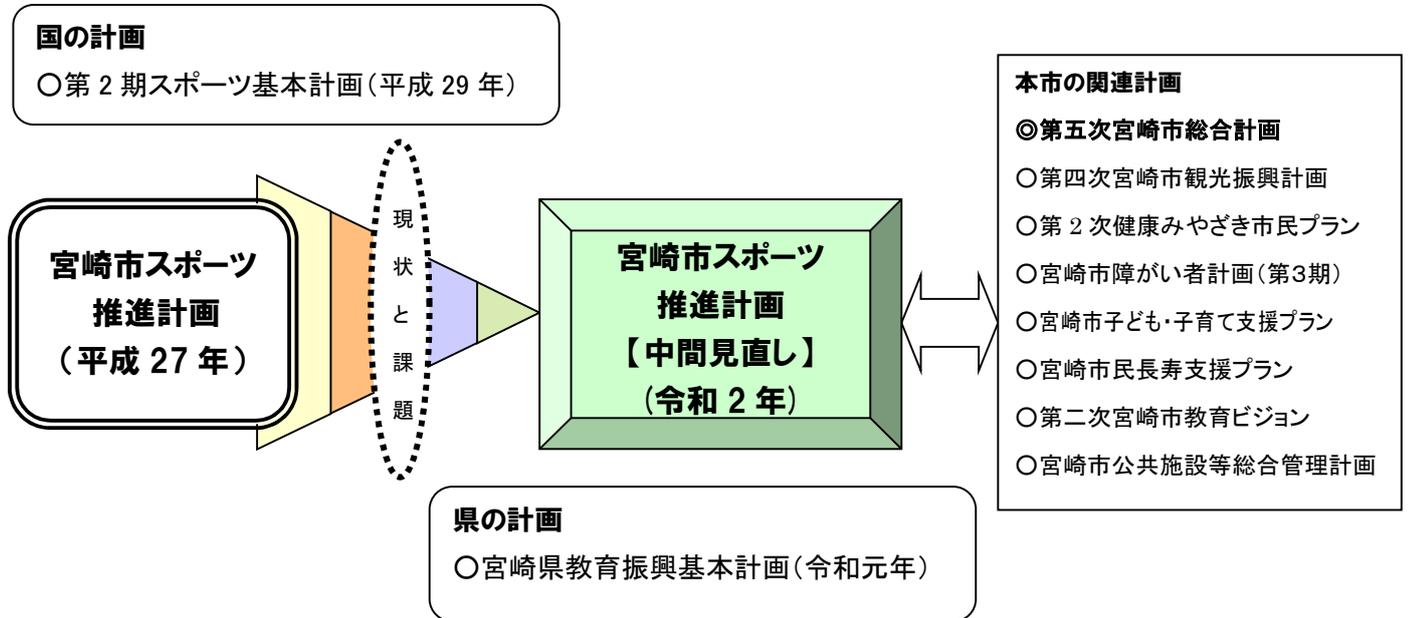
注1) 本計画における「運動・スポーツ」の考え方

運動・・・健康づくりなどを目的として体を動かすこと(例:散歩・ジョギング・体操、レクリエーション等)

スポーツ・・・あるルールに則り行われる、道具などを使用した身体活動のこと

## 4. 計画の位置付け

本計画は、国や県の計画を参酌しながら、本市の関連計画との整合性を図るとともに、「宮崎市スポーツ推進審議会注2）」や「市民の運動・スポーツに関する調査(以降「市民意識調査」と表記)」の結果等を踏まえ、令和2年度に向けて見直しを行いました。



## 5. 計画の構成

本計画の構成は、以下のとおりとし、後期5年間の計画の冊子を作成することとします。

- 第1章 スポーツ推進計画の見直しにあたって
  - ・見直しの背景、計画の位置付け
- 第2章 宮崎市のスポーツを取り巻く環境
  - ・平成30年市民意識調査の状況
- 第3章 中間年度の課題と今後の取組
  - ・課題と今後の取組
  - ・成果指標の到達状況、見直し
- 第4章 今後5年間の計画の推進に向けて
  - ・計画の推進体制等

### 現行の計画の構成

- 第1章 スポーツ推進計画策定の趣旨
- 第2章 宮崎市のスポーツを取り巻く環境
  - ・平成25年市民意識調査の状況
- 第3章 施策の展開
- 第4章 計画の推進に向けて



中間年度時点の現況や課題を踏まえ、新たな取組を反映した、後期5年間の計画の冊子を作成する。

注2) 宮崎市スポーツ推進審議会

スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第31条の規定に基づき設置され、本市のスポーツ推進に関する計画や施策に関する審議を行うための機関



## 第2章 宮崎市のスポーツを取り巻く環境

---

## 1. 社会情勢の変化と本市の動向

世界最大のスポーツの祭典である「東京 2020 オリンピック・パラリンピック(以降「東京オリ・パラ大会」と表記)」が開催され、6年後には、本県で2巡目となる「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会(以降「国スポ・障スポ大会」と表記)」が開催予定となっており、本市においても、国スポ・障スポ大会に向けて、準備を進めているところです。

また、本市は、2019年に共生社会ホストタウン<sup>注3)</sup>の登録を受け、関係機関と連携し、本市ならではの共生社会づくりを進めています。

そのような中、本市の総人口は、2013年をピークに減少し、2016年には40万人を割り込む状況となっており、高齢化率も2020年には28.7%となると見込まれています。

スポーツには、人やまちを元気にし、心を豊かにする力があります。また、人と人の交流も促進し、地域の一体感や活力を生み出す力があります。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、SDGs(持続可能な開発目標)の理念に沿い、社会情勢や個々のライフスタイルやニーズに応じた対策を講じることで、本市全体のスポーツの活性化に繋がっていくものと考えます。



▲キッズ遊び運動教室



▲元気度アップ↑市民一斉体力測定

注3) 共生社会ホストタウン

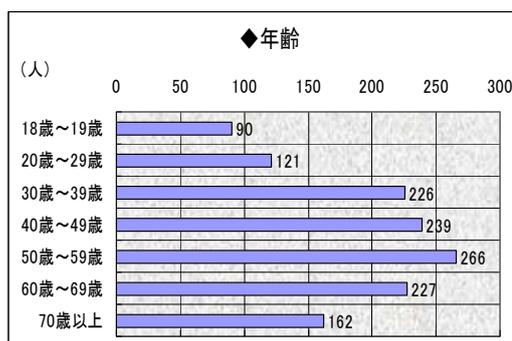
国が進める東京オリ・パラ大会におけるパラリンピアンを受け入れることをきっかけに、ユニバーサルデザインの街づくり及び心のバリアフリーに向けた自治体ならではの特色ある総合的な取組のこと。

## 2. 市民の運動・スポーツに関する調査概要

計画の見直しにあたり、本市における運動・スポーツの現状と課題等を把握するため、平成30年11月から12月に市民意識調査を行いました。

### ◎18歳以上の市民への意識調査

- ・ 配布方法:住民基本台帳より無作為に抽出した18歳以上の男女に郵送
- ・ 回収方法:郵送による回収及びQRコードでの回答
- ・ 配布数:4,000
- ・ 回収数:1,352(郵送1,115、QRコード237)
- ・ 有効:1,349
- ・ 無効:3
- ・ 回収率:33.7%  
(平成25年度アンケート時:37.5%)



### ◎市内小中学生への意識調査

- ・ 配布方法:市域バランス、児童・生徒数を考慮した小中学校の小学5年生、中学2年生を対象に学校において配布(小学校4校、中学校4校が対象)
- ・ 回収方法:後日、各校にて回収
- ・ 配布数:591
- ・ 回収数:591
- ・ 有効:591
- ・ 無効:0
- ・ 回収率:100%

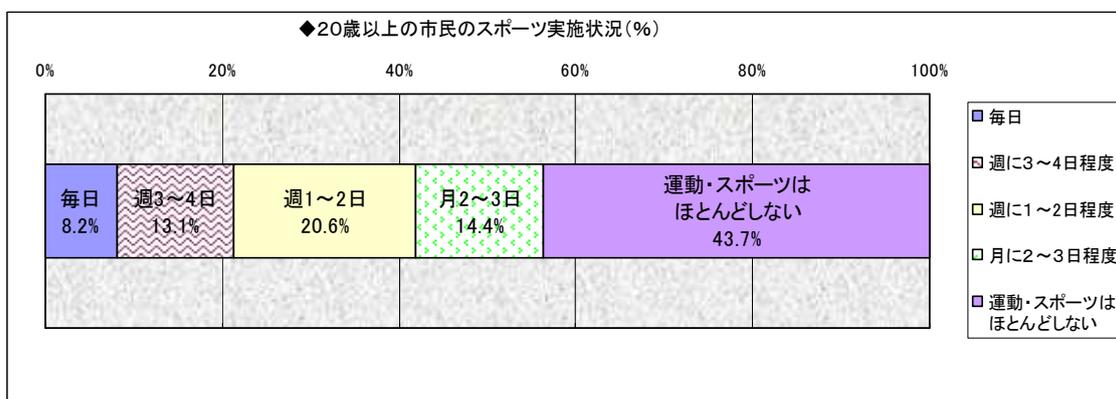
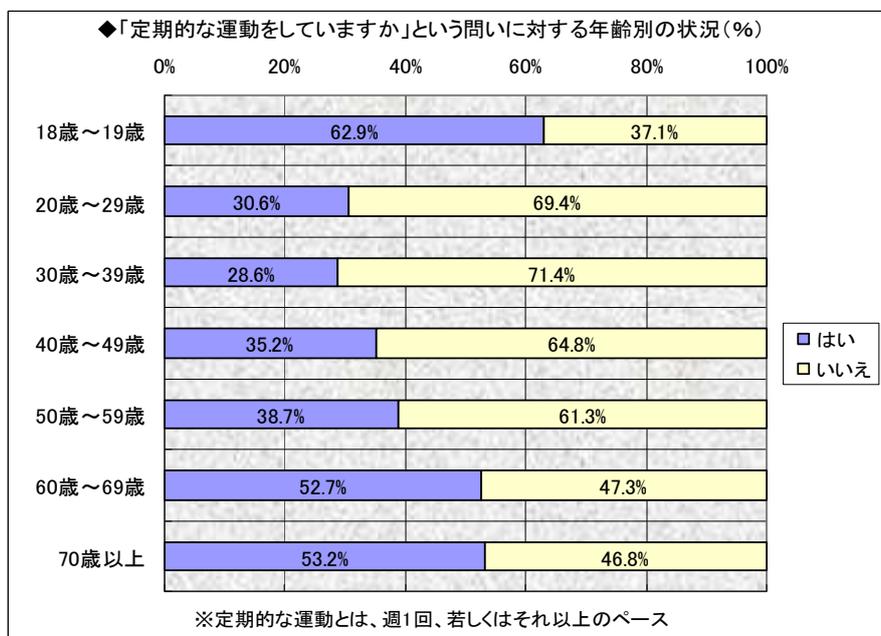
### 3. 市民の運動・スポーツに関する調査結果

#### (1)市民の運動・スポーツ実施率とその種目

成人の週1回以上の運動・スポーツの実施率は、41.9%となっており、平成25年度の市民意識調査の46.4%から4.5%下降しています。成果指標の目標値である65%を達成するには、23.1%の上昇が必要です。

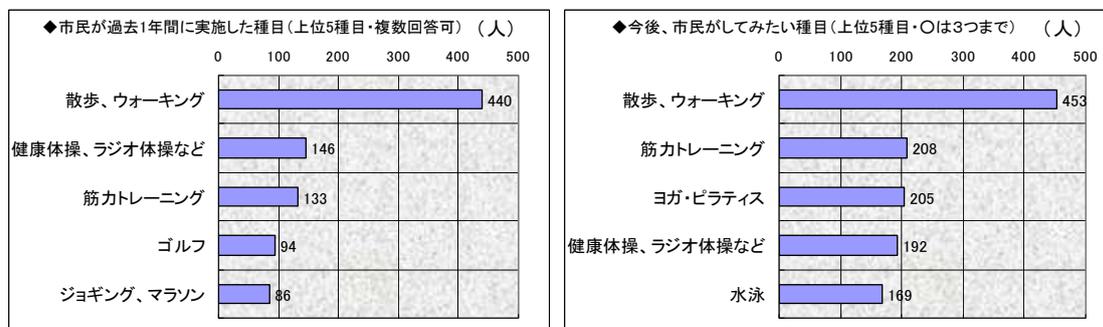
年代別に分析すると、20代から50代の運動・スポーツの実施率が低く、10代並びに60代から70代は、半数以上が定期的な運動・スポーツを実施しています。

このことから、全年代の運動・スポーツの実施率の底上げを図りながら、特に仕事や育児・家事で運動・スポーツに時間を割くことが難しい年代への働きかけが必要です。



最も行われている運動・スポーツは、「散歩、ウォーキング」です。次いで「健康体操、ラジオ体操など」と続きますが、前回(5年前)の市民調査と同様の傾向を示しています。

また、今後やってみたい運動・スポーツも同様に「散歩、ウォーキング」が上位となっていますが、今回の市民意識調査では、「ヨガ・ピラティス」も上位に挙がっています。



### これからやってみたい運動・スポーツに求められているもの

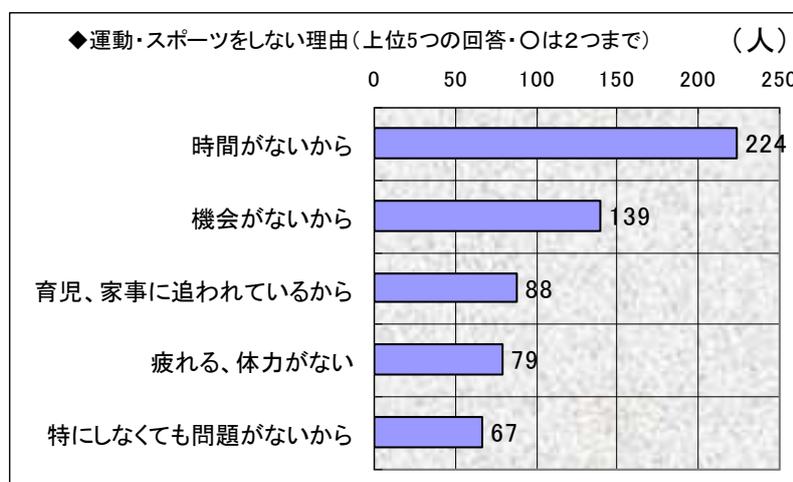


### 気軽に空いた時間にできる運動・スポーツ

運動・スポーツを実施しなかった理由は、前回の市民意識調査と同様に「時間がないから」、「機会がないから」が上位を占めています。

今回の調査では、「育児、家事に追われているから」という理由が3番目に挙がっており、特に女性の「運動・スポーツをしたいが時間を割けない」という背景が見えてきました。

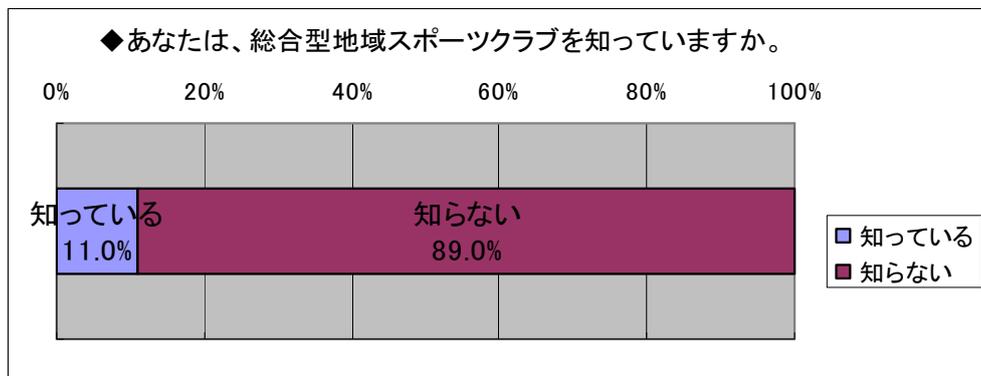
このことから、市民の運動・スポーツへの取り組む意欲を尊重し、生活スタイルや年代に応じた運動・スポーツの機会づくりの創出が必要と考えます。



## (2) 総合型地域スポーツクラブの認知度

総合型地域スポーツクラブ(以降「総合型クラブ」と表記)の認知状況をみると、知っていると答えた人は11%と前回の市民意識調査から3.1%下降しています。本市における総合型クラブの認知度は、まだ高いものではなく、継続的な周知活動が必要といえます。

国の計画の施策目標では、総合型クラブの量的拡大から質的な充実に重点を移行していくと明記されています。本市においても、総合型クラブが地域スポーツの担い手としての役割を果たしていくためにも、質的充実を促進していく必要があります。



▲市総合型地域スポーツクラブ交流大会

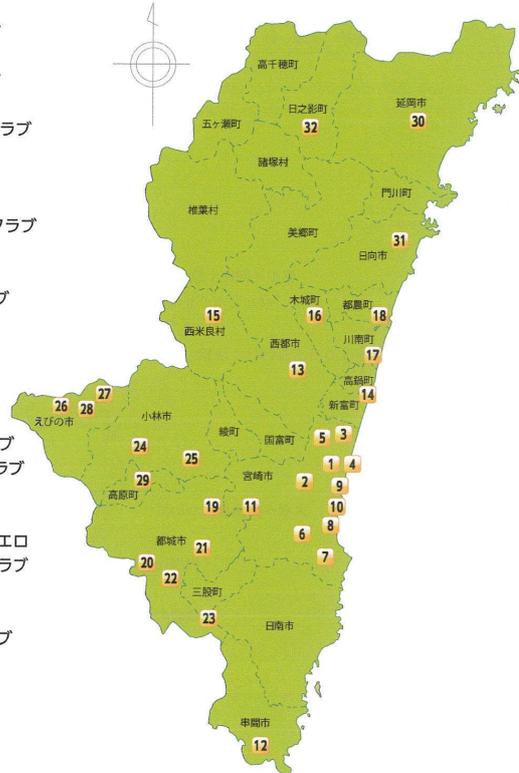
◆総合型地域スポーツクラブ

平成7年度から文部科学省が取り組むスポーツ振興策の一つ。スポーツを通じて「新しい公共」を担い、コミュニティの核となれるよう各市町村に少なくとも一つはクラブが育成されることを目指しています。地域住民に年齢、興味・関心、技術・技能レベル等に  
 応じた様々な運動・スポーツの機会を提供する多種目、多世代、多志向のスポーツクラブ  
 です。

宮崎県総合型地域スポーツクラブ

- 1 NPO法人 東大宮スポーツクラブ
- 2 みやざき中央スポーツクラブ
- 3 NPO法人 佐土原スポーツクラブ
- 4 住吉スポーツクラブ
- 5 NPO法人 MIYAZAKIうづらaiクラブ
- 6 半九レインボーSC
- 7 青島サーフクラブ
- 8 木の花スポーツクラブ
- 9 櫛フェニックス総合型スポーツクラブ
- 10 潮見スポーツクラブ
- 11 NPO法人 FC roby
- 12 一般社団法人 串間スポーツクラブ
- 13 西都スポーツクラブ
- 14 高鍋スポーツクラブ
- 15 メラスポチャレンジクラブ
- 16 木城ドリームス
- 17 川南スポーツ合衆国
- 18 NPO法人 都農enjoyスポーツクラブ
- 19 NPO法人 都城ぼんちスポーツクラブ
- 20 一般社団法人 とみさか
- 21 コスモクラブ都城
- 22 NPO法人 都城スポーツクラブシエロ
- 23 NPO法人 みまたチャレンジ総合クラブ
- 24 小林元気クラブ
- 25 クラブのじり
- 26 NPO法人 真幸ホットほっとクラブ
- 27 NPO法人 いいの夢クラブ
- 28 NPO法人 いい汗加久藤クラブ
- 29 神武くんスポーツクラブ“きらり”
- 30 南方ワイワイスポーツクラブ
- 31 ひむかYOUゆうクラブ
- 32 ひのかげきらめきクラブ

平成31年4月現在



宮崎県教育庁  
 スポーツ指導センター  
 (みやざき広域スポーツセンター)

総合型地域スポーツクラブについてのお問い合わせ  
 〒 889-2151 宮崎市大字野野 1443-12  
 TEL/0985-58-0096 FAX/0985-58-0097  
 HP <http://www.miyazaki-sports-shido-center.jp/>

▲ (出典) 宮崎県の総合型クラブ周知リーフレット (みやざき広域スポーツセンター作成)

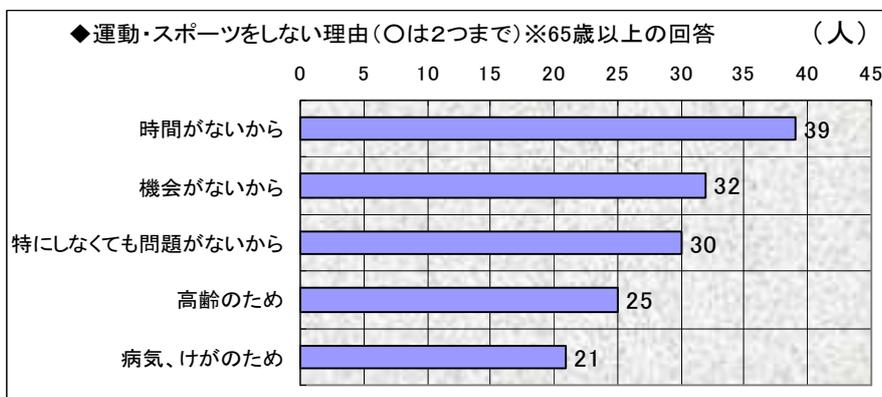
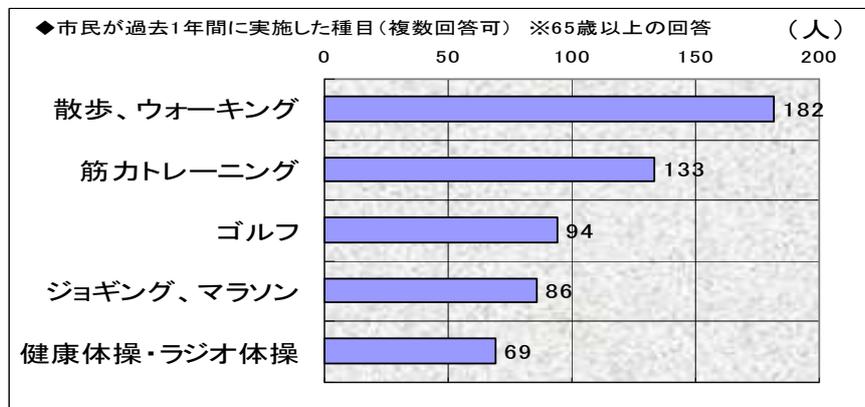
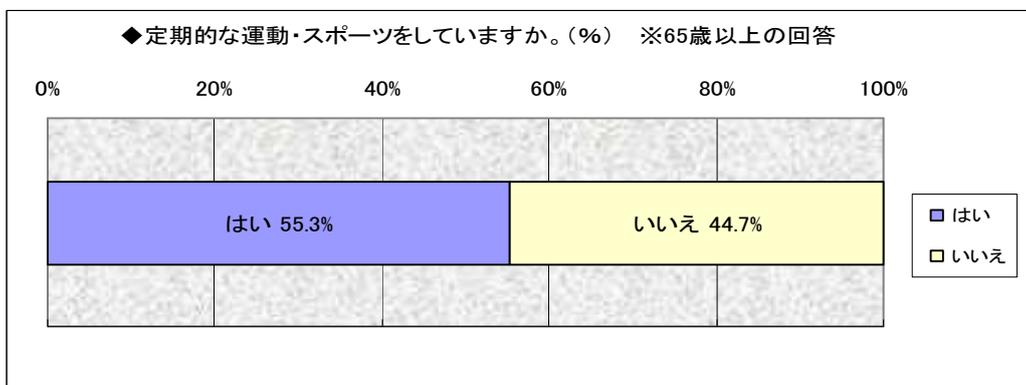
※上記の1～11の総合型クラブが宮崎市に設立されています。

### (3) 高齢者の運動・スポーツ実施率とその種目

高齢者にとって運動・スポーツは、介護予防や医療費の削減、また生きがいづくりや人とのつながりを広げるなど様々な効果や意義があります。

本市の65歳以上の高齢者の週1回以上の運動・スポーツ実施率は、55.3%となっています。また、過去1年間に実施した運動・スポーツは、「散歩、ウォーキング」、「筋力トレーニング」、「ゴルフ」が上位を占め、前回の市民意識調査と同様の結果となっています。

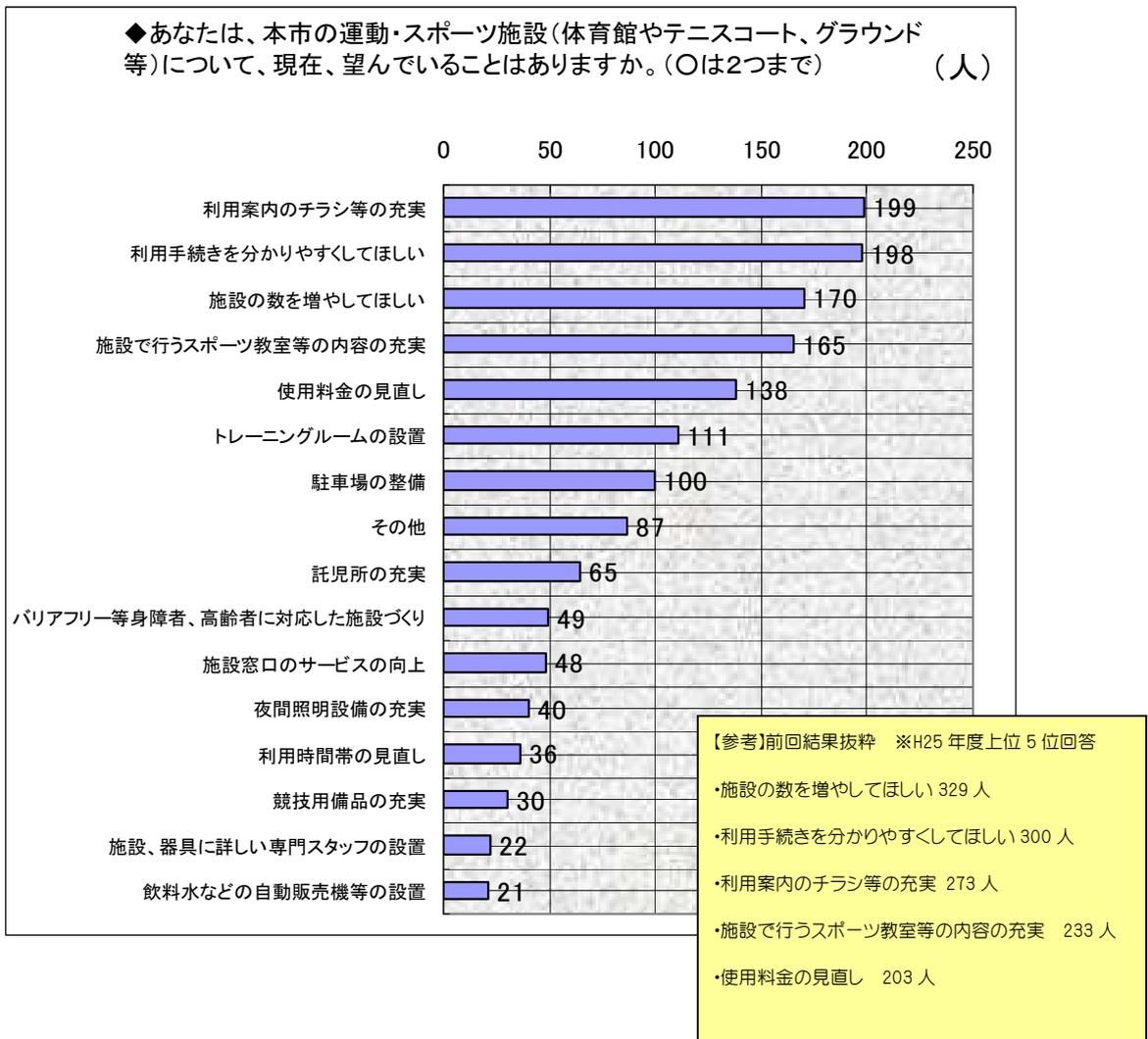
今後、ますます高齢化が進行していくにあたり、高齢者がいつまでも健康で生きがいを持って暮らせるよう、運動・スポーツの効果や意義を再確認できる健康運動教室や行事等を充実していく必要があります。



#### (4)スポーツ施設へのニーズ

市民が公共スポーツ施設に期待することは、市民意識調査によると、「利用案内のチラシ等の充実」、「利用手続きを分かりやすくしてほしい」「施設の数を増やしてほしい」が上位に挙げられています。また、その他の回答として、プールの建設や親子で楽しめるキッズスペースやランニングコースの設置等の要望が挙げられていました。

今後は、既存施設の機能維持を図りながら、施設の管理運営を行う指定管理者注4)と連携し、市民にとって、身近で利用しやすい施設づくりやサービスの向上を図っていく必要があります。



注4) 指定管理者

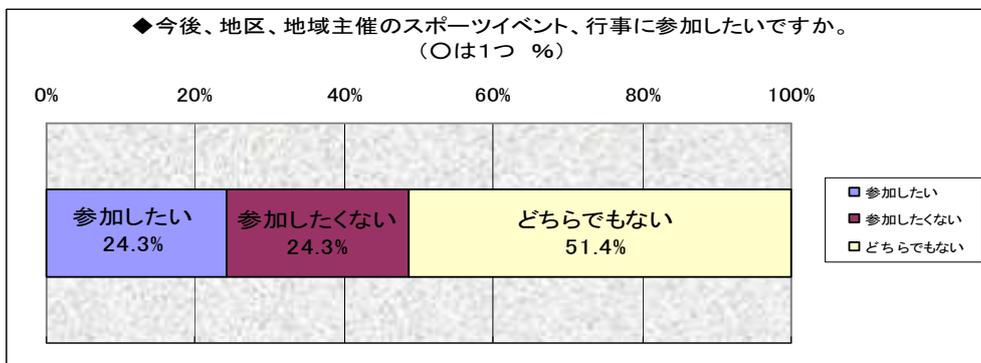
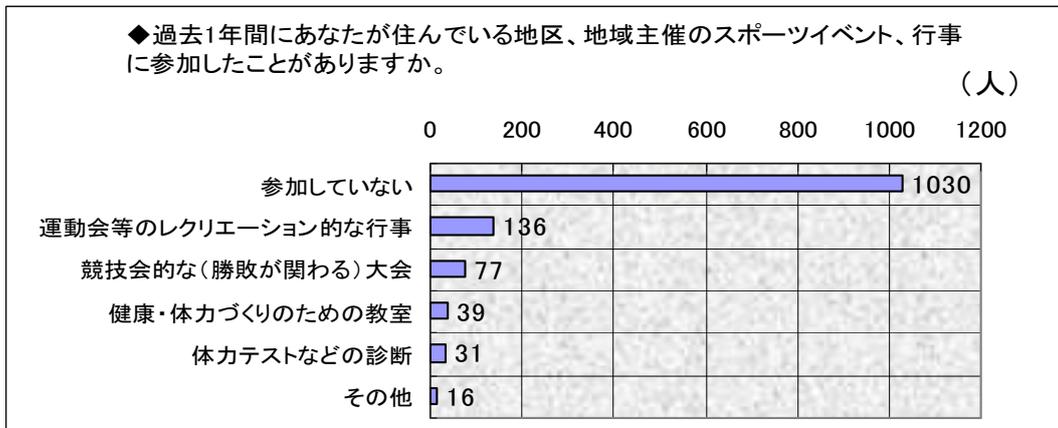
公の施設のより効果的・効率的な管理を行うため、その管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上や経費削減等を図るために導入された管理者

### (5) 地域でのスポーツイベント等についての状況

居住する地区、地域主催の運動・スポーツイベントへの参加については、前回の市民意識調査と同様に、多くの市民が、「参加していない」と回答しています。この結果は、本市における自治会加入率の低下や地域住民同士の交流の希薄化等が背景にあると考えられます。

(本市の自治会加入率:平成25年度 58.1%→平成30年度 55.2%)

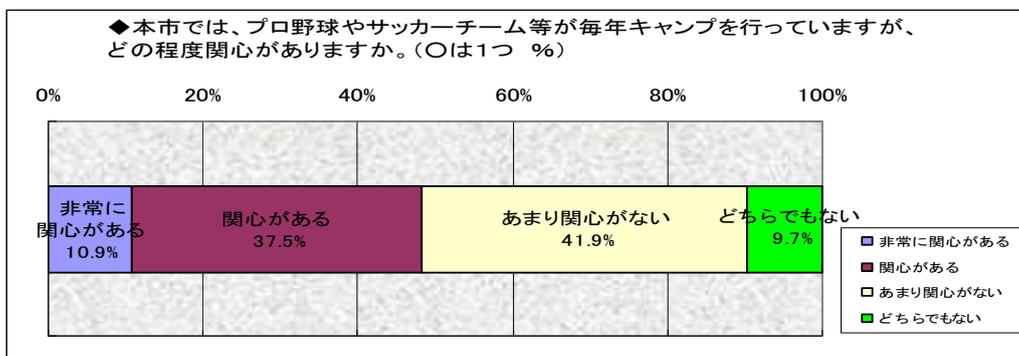
地域再生や地域のきずなづくりの手段として、多世代で参加でき、交流が図れるスポーツ大会やイベント等の情報発信や地域住民の健康づくりのための運動・スポーツ教室等の開催が今後、必要となってくると考えます。



▲地区での夏季ラジオ体操会

## (6) スポーツキャンプへの関心度

本市では、市内各所において、毎年プロ・アマチュアスポーツのキャンプが行われ、賑わいをみせています。市民意識調査によると48.4%の市民がキャンプへの関心をもっていると回答しています。



## ◆令和元年度の市内の主なスポーツキャンプ・試合日程

日程	チーム・試合名	利用施設	種目(目的)
2019.10.5	プロ野球ファーム日本選手権	サンマリンスタージアム宮崎	野球(試合)
2019.10.7~10.28	みやざきフェニックスリーグ	生目の杜運動公園 他	野球(試合)
2019.11.21~11.24	ダンロップフェニックストーナメント	フェニックスカントリークラブ	ゴルフ(試合)
2019.11.28~12.1	LPGA ツアーチャンピオンシップリコーカップ	宮崎カントリークラブ	ゴルフ(試合)
2020.2.1~2.27	読売巨人軍	県総合運動公園	野球(キャンプ)
2020.2.1~2.27	福岡ソフトバンクホークス	生目の杜運動公園	野球(キャンプ)
2020.2.1~2.29	オリックス・バファローズ	清武総合運動公園	野球(キャンプ)
2020.1.10~1.20	鹿島アントラーズ	県総合運動公園	サッカー(キャンプ)
2020.1.20~2.2	セレッソ大阪	国際海浜エントランスプラザ	サッカー(キャンプ)
2020.1.23~1.31	横浜F・マリノス	シーガイアイベントスクエアI	サッカー(キャンプ)
2020.1.28~2.8	アビスパ福岡	生目の杜運動公園	サッカー(キャンプ)
2020.1.30~2.9	サンフレッチェ広島	シーガイアイベントスクエアI	サッカー(キャンプ)
2020.1.26~2.9	ツエーゲン金沢	清武総合運動公園	サッカー(キャンプ)
2020.2.1~2.9	ファジアーノ岡山	県総合運動公園	サッカー(キャンプ)
2020.1.21~2.1	徳島ヴォルティス	県総合運動公園	サッカー(キャンプ)
2020.2.3~2.17	FC 岐阜	県総合運動公園	サッカー(キャンプ)
2020.2.9~2.15	ベガルタ仙台	県総合運動公園	サッカー(キャンプ)
2020.2.18~2.24	セレッソ大阪 U-23	国際海浜エントランスプラザ	サッカー(キャンプ)

## (7) 障がい者スポーツの状況

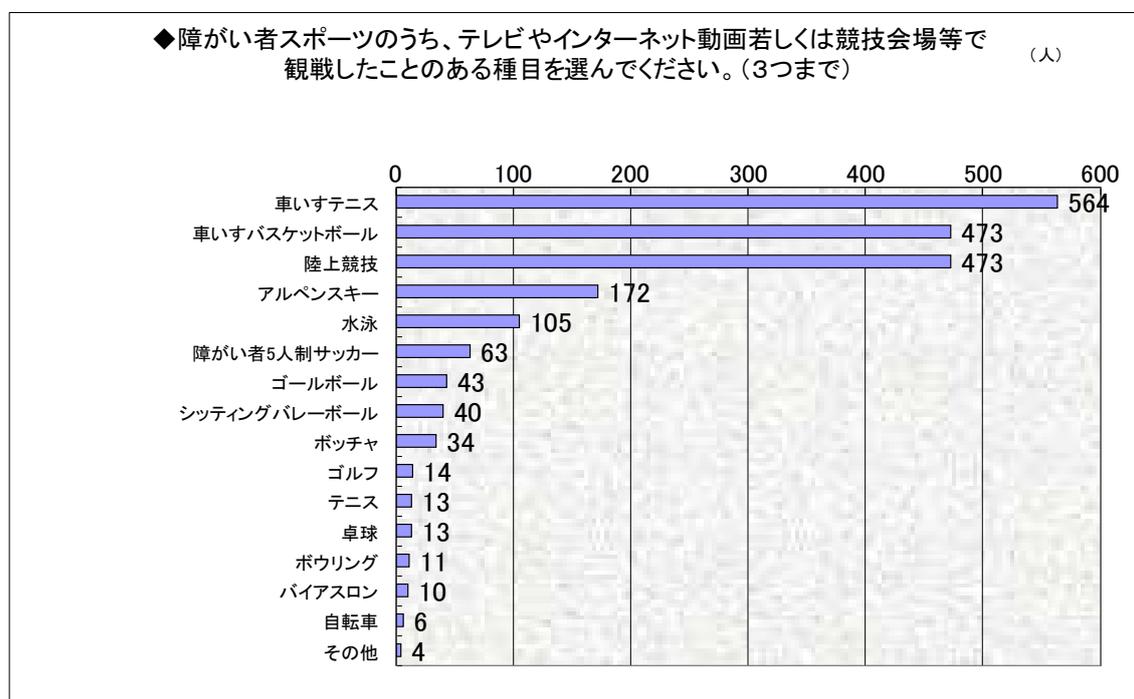
平成 29 年 3 月に実施された公益財団法人笹川スポーツ財団(スポーツ庁委託)の「障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究」によると、障がい児・障がい者の週 1 日以上スポーツ・レクリエーション実施率は、7 歳～19 歳が 29.6%、成人が 20.8%という結果になっています。その結果において、過去 1 年間に実施したスポーツ・レクリエーションの上位種目は、7 歳～19 歳が水泳、散歩、体操、成人が散歩、ウォーキング、水泳という結果になっています。

また、障がい者のスポーツ・レクリエーションの実施において障壁となっているものの上位は、「金銭的な余裕がない(21.5%)」、「体力がない(20.9%)」、「時間がない(14.2%)」、「交通手段・移動手段がない(9.4%)」、「仲間がいない(8.8%)」となっています。

障がい者にとって、運動・スポーツは、ストレス解消に繋がるとともに、友人や行動範囲が増え、周囲からの理解も向上するなどの結果も出ています。

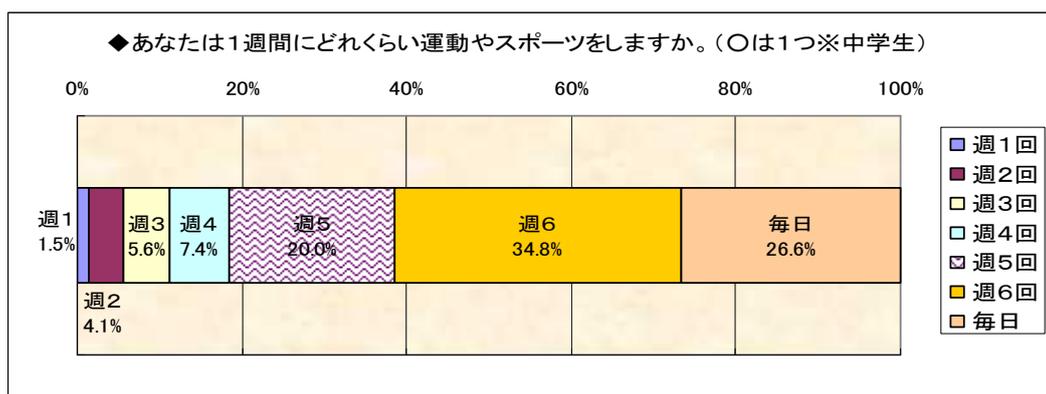
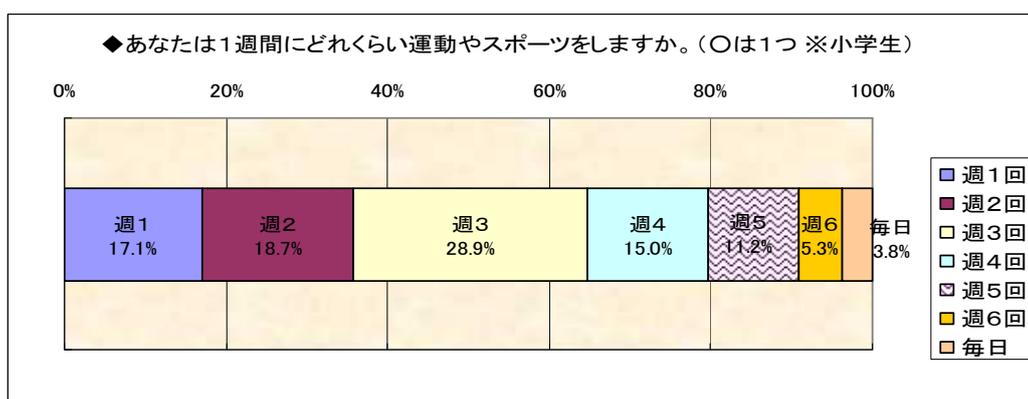
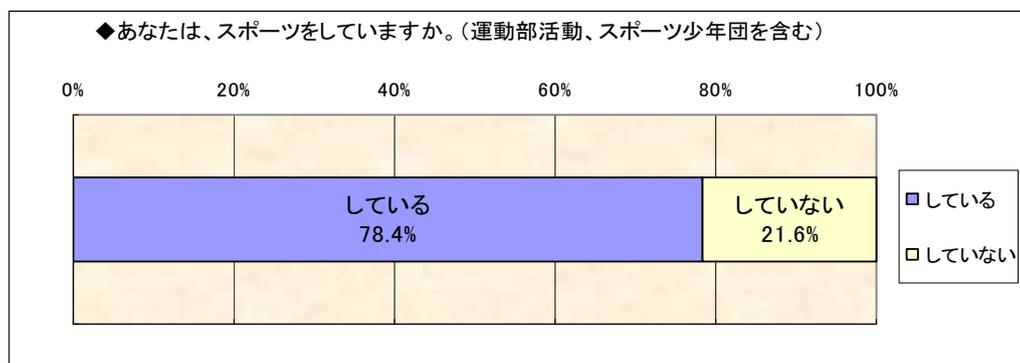
市民意識調査においても、多くの市民が、テレビやインターネット等を通じて、車いすテニスや陸上競技を観戦しており、東京オリ・パラ大会をきっかけに、今後、本市の障がい者スポーツへの機運も高まることが予想されます。

本市においても、障がい者にとっての運動・スポーツの効果を再確認しながら、継続的な障がい者の運動・スポーツ活動の機会の創出や支援体制の検討が必要と考えます。



## (8) 児童生徒の運動・スポーツの実施状況及び種目への関心度

児童生徒の運動・スポーツの実施状況については、78.4%が運動部活動やスポーツ少年団等において運動・スポーツを実施しており、実施頻度については、以下のとおりとなっています。



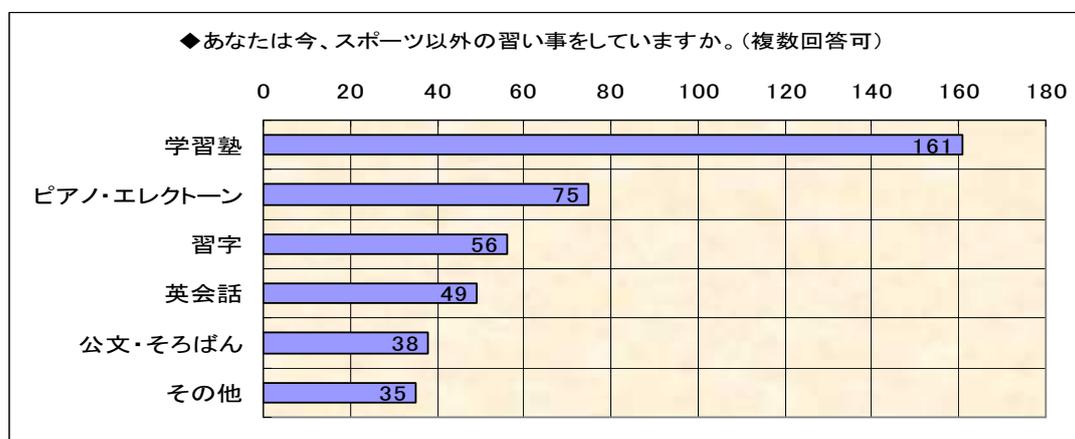
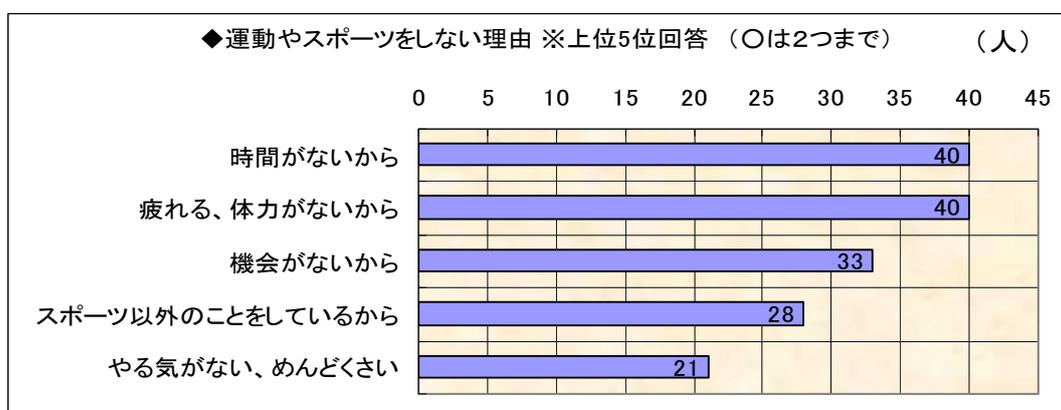
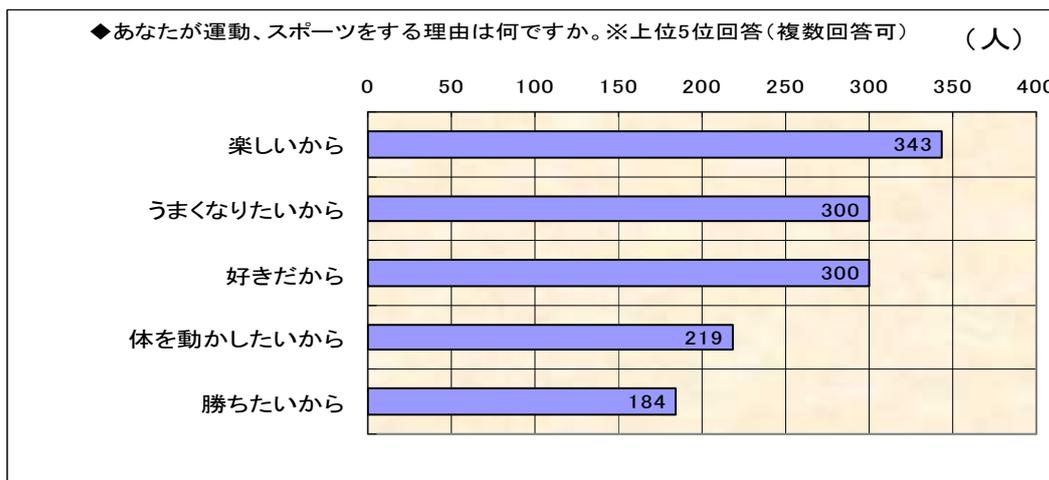
小学生の1週間あたりの運動・スポーツの平均実施回数は、3.1回となり、中学生の平均実施回数は、5.5回となっています。

平成30年に国や県、並びに市より運動部活動の活動に関する方針が出され、週2日以上  
の休養日の設定や平日の活動時間を2時間程度にすること等が示されています。今後、  
特に中学生の運動・スポーツの実施頻度に影響してくることが考えられます。

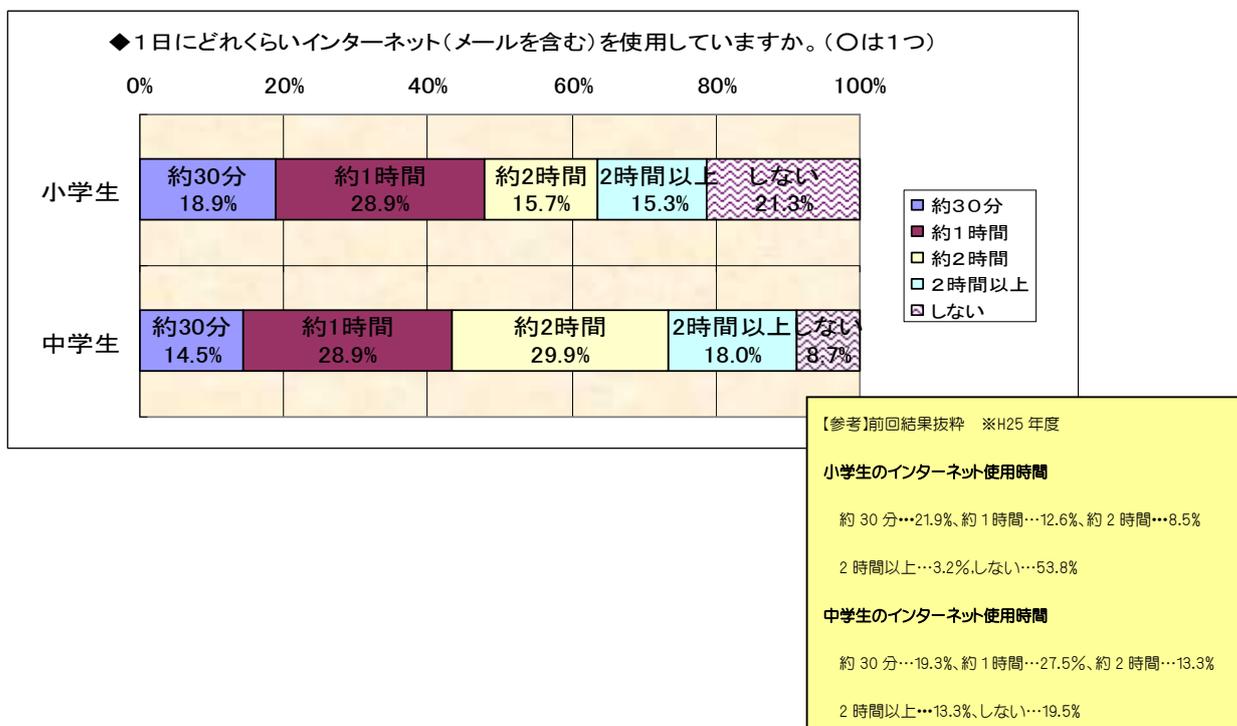
運動・スポーツの実施理由としては、「楽しいから」、「うまくなりたいたいから」、「好きだから」が多数を占めており、前回の小中学生調査と同様の傾向となっています。

一方で、運動・スポーツをしない理由については、「時間がないから」、「疲れる、体力がないから」、「機会がないから」が多数を占めています。

また、習い事についても調査したところ、学習塾が上位に挙がり、以下ピアノ・エレクトーン、習字の順となっています。

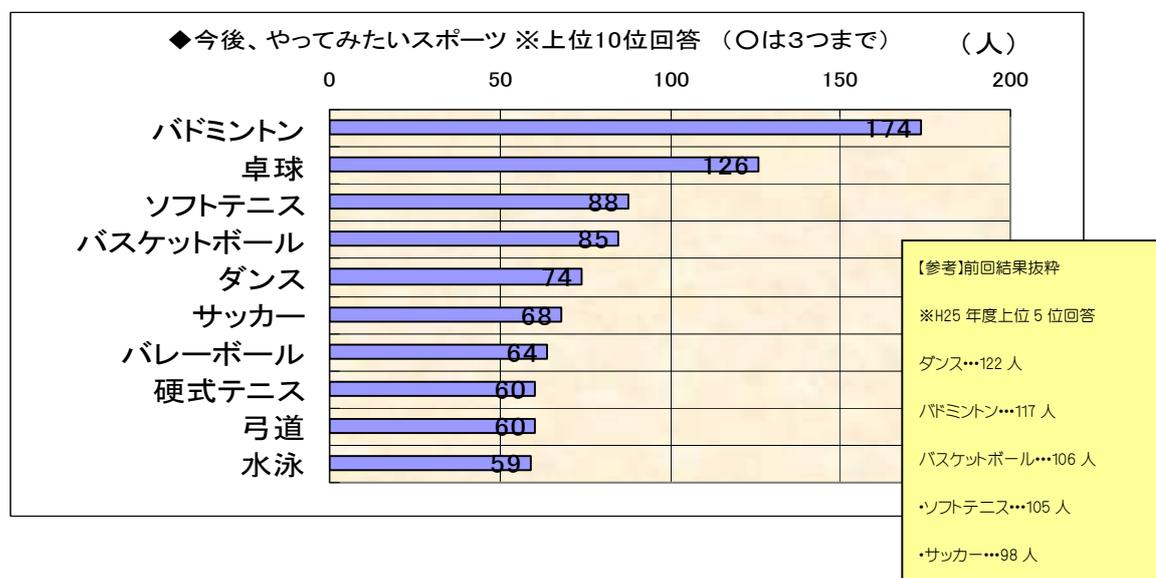


前回の調査に続き、インターネット環境の普及の背景から、小中学生のインターネットの使用時間についても、調査を行いました。使用している時間は、小学生においては、約1時間が最も多く、中学生になると約2時間が最も多いという結果になっています。前回の調査と比べ、特に小学生のインターネットの使用時間が、増加傾向にあります。



今後、やってみたい運動・スポーツの上位5種目は、「バドミントン」、「卓球」、「ソフトテニス」、「バスケットボール」、「ダンス」となっています。前回の調査における上位5種目は、「ダンス」、「バドミントン」、「バスケットボール」、「ソフトテニス」、「サッカー」となっています。

このような結果から、児童生徒が興味、関心を示す運動・スポーツに、この5年間で変化が出てきているといえます。



◆過去5年間の宮崎市内のスポーツ少年団員数（人）

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加入率	18.9%	18.6%	20.9%	20.4%	20.4%
加入数/総児童数	4,256/22,467	4,177/22,499	4,703/22,549	4,653/22,759	4,653/22,784

（出典）宮崎市スポーツ少年団事務局データより

◆過去5年間の宮崎地区（宮崎市、東諸県郡）の中学校運動部活動加入率（％）

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
男子加入率	74.3%	73.6%	72.1%	71%	70%
加入数/総生徒数	4,923/6,622	4,830/6,561	4,611/6,391	4,462/6,285	4,398/6,280
女子加入率	53.2%	53.3%	52.9%	51.9%	49.2%
加入数/総生徒数	3,400/6,390	3,349/6,284	3,266/6,169	3,159/6,089	3,009/6,116

（出典）宮崎地区中学校体育連盟事務局データより



▲県スポーツ少年団宮崎市ブロック大会

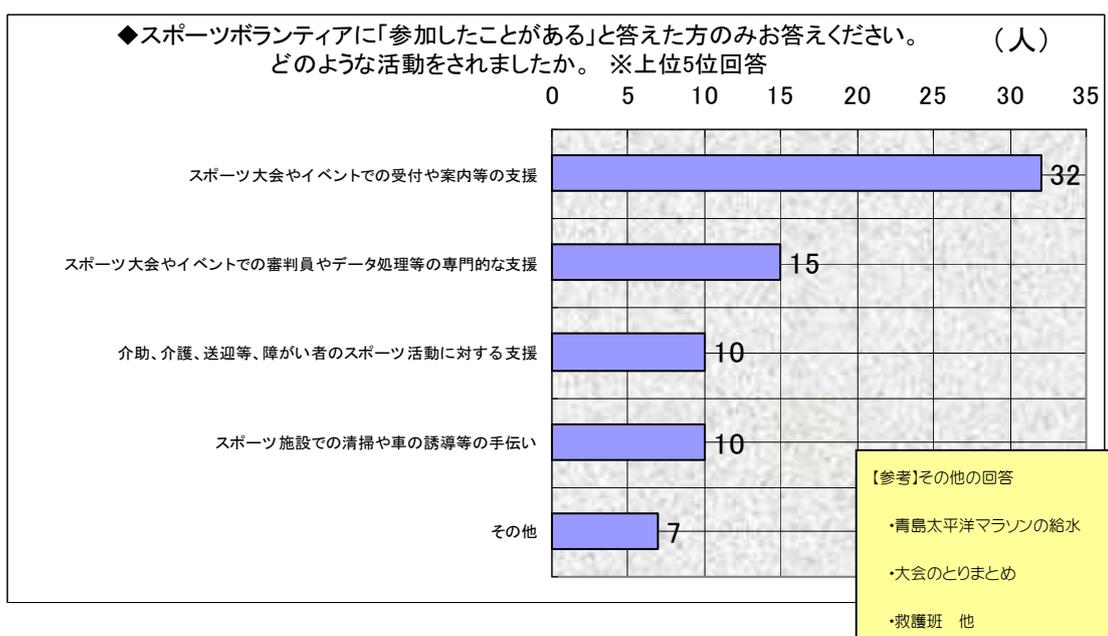
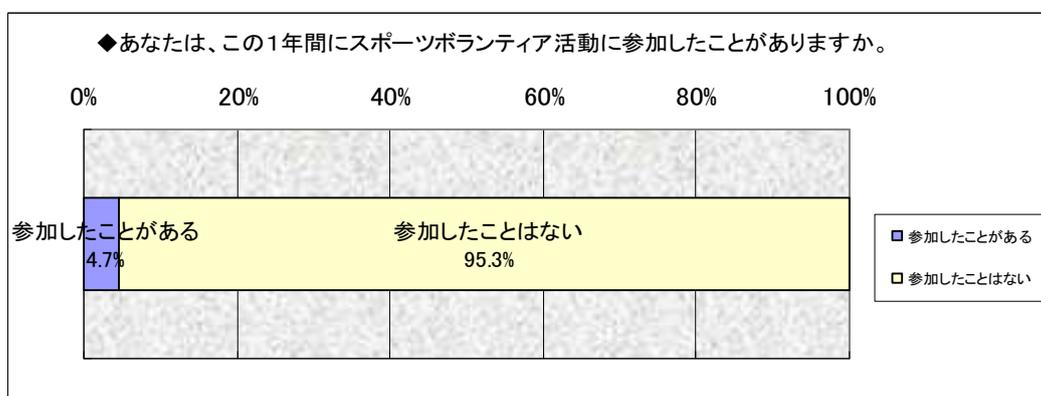
### (9) スポーツボランティアの状況

1年間にスポーツボランティア活動に参加した人は、4.7%となっており、前回結果の4.6%と変わらず、横ばいの状況となっています。

活動内容については、「スポーツ大会やイベントでの受付や案内等の支援」が多数を占めており、次いで、「審判員やデータ処理等の専門的な支援」となっています。

国の計画においても、東京オリ・パラ大会をはじめとするスポーツイベントをスポーツボランティア普及の好機として、スポーツボランティアの参画人口の増加を図ることとしています。

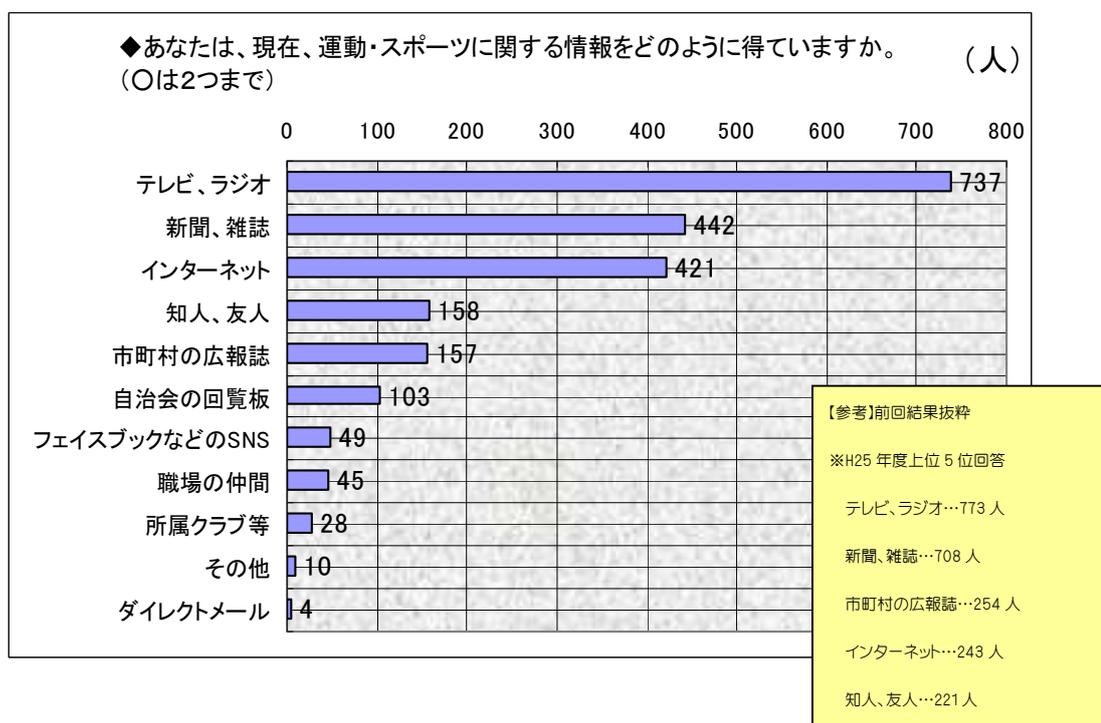
今後は、地域のスポーツイベントや6年後の国スポ・障スポ大会のような大規模なスポーツ大会において、運営支援や障がい者に対する運動・スポーツへの活動支援等のできる人材の育成に努めていく必要があります。



## (10) 運動・スポーツに関する情報収集の状況

市民の運動・スポーツに関する情報の入手先として、「テレビ、ラジオ」が多数を占めています。次いで、「新聞、雑誌」、「インターネット」の順となっています。前回の市民意識調査と比較すると、上位の情報入手先は変わっていませんが、「インターネット」の割合が高くなっている傾向にあります。

今後は、市民が手軽に情報を入手できるメディアや雑誌、インターネットやSNSを活用した情報提供の充実が必要と考えます。



▲2019 ISA ワールドサーフィンゲームズ

© ISA

### (11)スポーツ推進委員の状況

本市のスポーツ推進委員は、地区体育会の推薦を受け、令和2年3月現在、85名が本市の運動・スポーツの推進者として、実技指導や地区対抗スポーツ大会等の運営等を行い、市民スポーツ及び地域スポーツ推進の重要な担い手となっています。

今後、本市において、地域による人口構造の差異が大きく開き、地域で抱える課題も多様化することが予想されます。そのような状況を踏まえながら、本市のスポーツ推進委員が、地区体育会や地域まちづくり推進委員会等と連携、協力を図りながら、地域のコーディネーターとしての役割を担っていくことが重要となっていきます。

#### ◆スポーツ推進委員

「スポーツ振興法」が、50年ぶりに全面改正され、平成23年8月に「スポーツ基本法」が制定され、第32条にスポーツ推進委員に関する条文が設けられた。

スポーツ基本法(第三十二条抜粋)

第三十二条 市町村の教育委員会(特定地方公共団体にあつては、その長)は、当該市町村におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、及び次項に規定する職務を行うのに必要な熱意と能力を有する者の中から、スポーツ推進委員を委嘱するものとする。

2 スポーツ推進委員は、当該市町村におけるスポーツの推進のため、教育委員会規則(特定地方公共団体にあつては、地方公共団体の規則)の定めるところにより、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行なうものとする。

3 スポーツ推進委員は、非常勤とする。



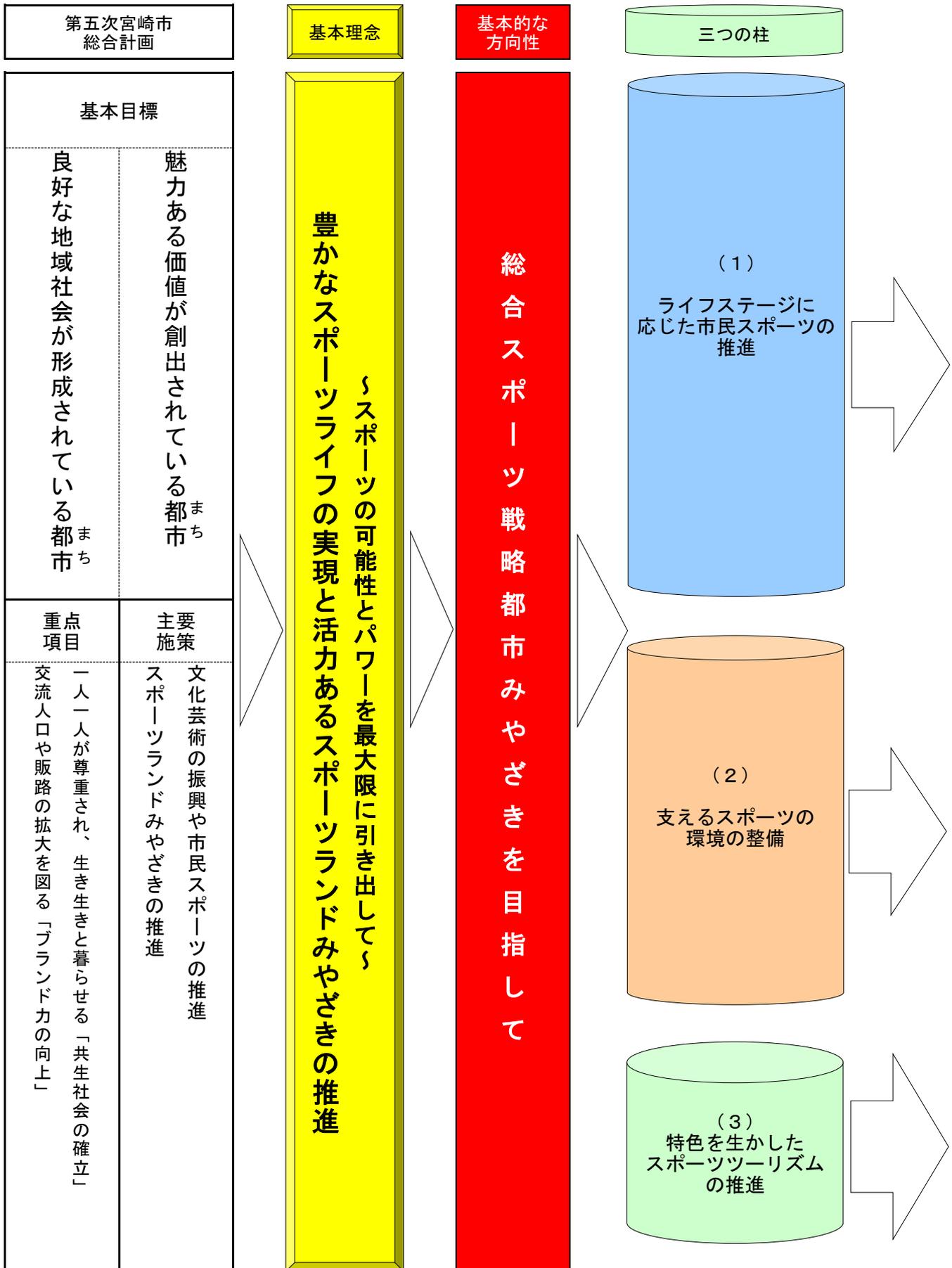
▲宮崎市スポーツ推進委員研修会



## 第3章 中間年度の課題と今後の取組

---

◆宮崎市スポーツ推進計画の体系図 平成27年度～令和6年度【中間見直し】



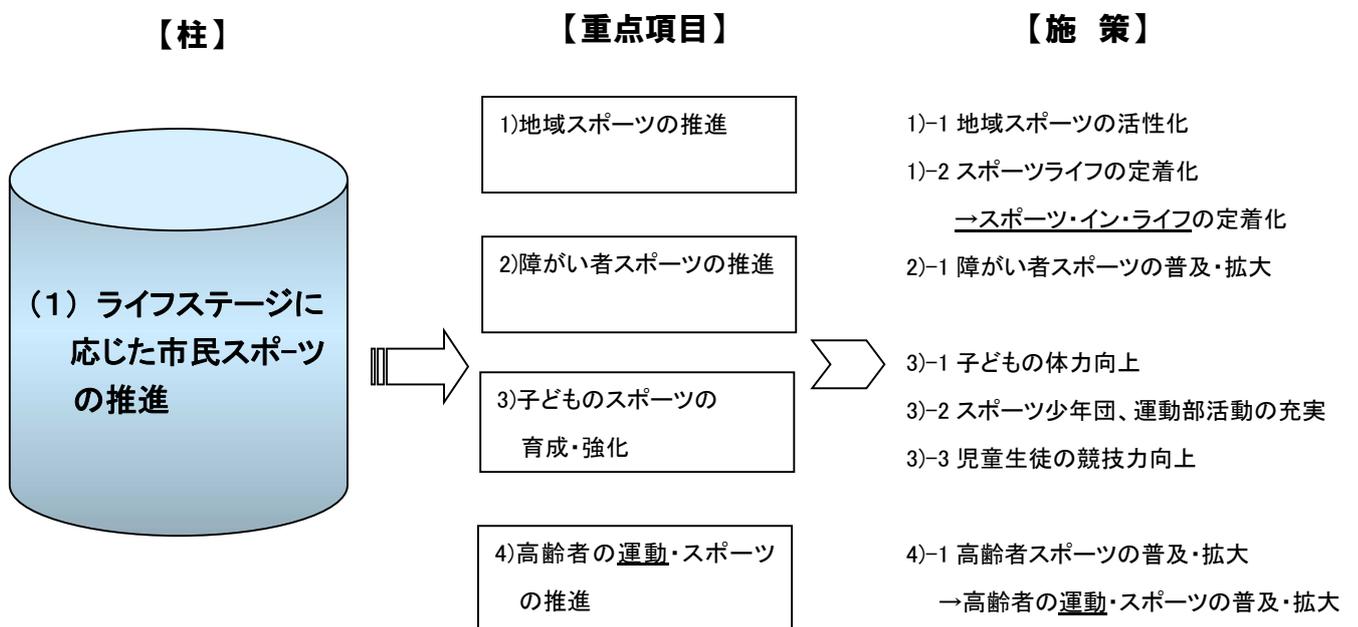
重点項目	施策	具体的取組
1) 地域スポーツの推進	1)-1 地域スポーツの活性化	① 地域主体の市民スポーツの推進 ② 総合型地域スポーツクラブの地域密着化及び <b>質的充実</b> 【追加】
	1)-2 <b>スポーツ・イン・ライフ</b> の定着化	① 各種スポーツ大会、スポーツ教室の充実 ② 市民の運動・スポーツの実施率の向上 ③ <b>職域や家庭での運動・スポーツ活動の啓発</b> 【新規】
2) 障がい者スポーツの推進	2)-1 障がい者スポーツの普及・拡大	① 障がい者のスポーツ活動・交流の推進 ② 障がい者にやさしいスポーツ環境の整備
3) 子どものスポーツの育成・強化	3)-1 子どもの体力向上	① 幼児期からの子どもの運動機会の充実 ② 学校体育の充実
	3)-2 スポーツ少年団、運動部活動の充実	① 小中学校と地域との連携強化 ② <b>児童生徒の適切な運動・スポーツ活動の推進</b> 【新規】
	3)-3 児童生徒の競技力向上	① <b>国民スポーツ大会等を見据えたジュニアアスリートの発掘、育成</b> 【追加】 ② 指導者の育成と資質向上
4) 高齢者の <b>運動・スポーツ</b> の推進	4)-1 高齢者の <b>運動・スポーツ</b> の普及・拡大	① 高齢者が参加しやすい <b>運動・スポーツ</b> 教室等の推進 【追加】 ② 高齢者にやさしい <b>運動・スポーツ</b> 環境の整備 【追加】
1) 運動・スポーツ指導者等の育成	1)-1 スポーツ推進委員等の充実	① スポーツ推進委員の育成・資質の向上
	1)-2 スポーツボランティアの充実	① スポーツボランティアの育成・体制確立
2) スポーツメディカル体制の整備	2)-1 スポーツメディカル体制の充実	① スポーツメディカル体制の推進
3) スポーツ施設の整備	3)-1 スポーツ施設の充実	① 公共スポーツ施設、スポーツ器具の整備 ② 公共スポーツ施設の長寿命化 ③ <b>国民スポーツ大会・障害者スポーツ大会を見据えた公共スポーツ施設、スポーツ器具の整備</b> 【新規】
	3)-2 スポーツ施設の利便性の向上	① 指定管理者制度におけるサービスの向上 ② 学校体育施設の活用
4) ネットワークの整備	4)-1 スポーツ関連情報提供の充実	① スポーツの広報・周知活動の推進 ② スポーツ関連情報の一元化
1) スポーツ大会・スポーツ合宿の誘致	1)-1 宮崎らしさを生かした大会等の誘致	① 国際及び全国大会、合宿の誘致・受入れ ② <b>レジャースポーツの推進</b> 【新規】 ③ 東京オリンピック・パラリンピックの調整合宿の誘致
	1)-2 スポーツ選手との交流推進	④ <b>「みるスポーツ」、「応援するスポーツ」の推進</b> 【新規】 ① トップレベル選手等との交流機会の充実

# 1. 本市の運動・スポーツに関する課題と今後の取組

本市の運動・スポーツに関する現状から課題を挙げ、本計画の具体的取組に反映していきます。

## 1つ目の柱

### I ライフステージに応じた市民スポーツの推進



▲トップアスリート発掘・育成事業

## ■重点項目 1)地域スポーツの推進

### 施策 1)-1 地域スポーツの活性化

#### 現在の具体的取組

##### ①地域主体の市民スポーツの推進

主な事業:地域スポーツ振興事業等(地区対抗スポーツ大会の開催、地区体育会への補助)

##### ②総合型地域スポーツクラブの地域密着化

主な事業:地域スポーツ振興事業等(広報誌の作成、大会への補助)、

総合型クラブ主催のスポーツ教室等

#### 現状及び課題

- 各種スポーツ大会や教室等の開催を通して、住民同士の交流やきずなづくりが図られている地域がある一方で、自治会や地区体育会への加入率の低下などにより地域スポーツの活性化に苦慮している地域もある。
- 市民の地区や地域でのスポーツイベント等に参加したいという意向は、約24%となっている。
- 市民の総合型クラブの認知度は、約11%となっており、認知度が高いとはいえない。

#### 今後の具体的取組

##### ①地域主体の市民スポーツの推進【継続】

地域スポーツの活性化の中心的な役割である地区体育会をはじめ、総合型クラブやスポーツ推進委員等が連携を図り、地域住民の運動・スポーツ機会の創出、推進に努めていきます。

##### ②総合型地域スポーツクラブの地域密着化及び質的充実【追加】

総合型クラブの質的充実を目指した、国の「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」への申請を総合型クラブに働きかけるとともに、総合型クラブが地域に根ざし、地域スポーツ推進の担い手として活動していくために、今後より一層の周知を図っていきます。

## 施策 1)-2 スポーツライフの定着化→スポーツ・イン・ライフの定着化

### 現在の具体的取組

#### ①各種スポーツ大会、スポーツ教室の充実

主な事業：市民スポーツ振興事業、市体育協会市民スポーツ推進事業等

(市民体育大会や市体育協会が主催する事業やスポーツ教室等への補助)

#### ②市民の運動・スポーツの実施率の向上

主な事業：市政出前講座(スポーツ推進委員を派遣し、ニュースポーツ講座等を実施)

健康みやざきマイレージ事業、公民館等学級講座開設事業、

総合型クラブ主催のスポーツ教室(再掲)等

### 現状及び課題

- 市民意識調査によると、成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率は約42%に留まっており、今後5年間で成果指標の目標値65%に引き上げるには、対策を講じる必要がある。
- 運動・スポーツ実施率については、年代別に数値の開きがある。特に働き世代、子育て世代である20代から50代の実施率は半数以下となっている。

### 今後の具体的取組

#### ①各種スポーツ大会、スポーツ教室の充実【継続】

市や地区体育会並びに市体育協会等が連携し、内容や目的を検討しながら、今後も継続して、市民の生涯スポーツの推進並びに世代間の交流や健康づくりに繋がるよう、事業の充実を図っていきます。

#### ②市民の運動・スポーツの実施率の向上【継続】

「運動・スポーツは、気軽に空き時間にできるもの」という意識改革を行い、成果指標である目標値65%の運動・スポーツの実施率達成に向け、年代別への取組を検討します。

#### ③職域や家庭での運動・スポーツ活動の啓発【新規】

職域でのラジオ体操や家庭でも気軽にできる運動等を啓発し、生活の中に自然に運動・スポーツが取り込まれている「スポーツ・イン・ライフ」という姿を目指していきます。

## ■重点項目 2)障がい者スポーツの推進

### 施策 2)-1 障がい者スポーツの普及・拡大

#### 現在の具体的取組

##### ①障がい者のスポーツ活動・交流の推進

主な取組:バリアクラッシュMIYAZAKI

青島太平洋マラソンにおける視覚障害者大会部門の設置等

##### ②障がい者にやさしいスポーツ環境の整備

主な事業:障がい者体育センター運営事業、社会体育施設整備事業、ニュースポーツ用具貸出等

#### 現状及び課題

○障がい者にとって、スポーツ・レクリエーションは、ストレス解消や人との交流等に繋がるものである。障がい者のスポーツ活動を推進していくためには、環境や支援体制を整えることが重要である。

○市民の障がい者スポーツの体験会や大会へのボランティアの参加意向については、約13%が参加したいと回答している。

#### 今後の具体的取組

##### ①障がい者のスポーツ活動・交流の推進【継続】

障がい者にとってのスポーツ・レクリエーションの効果や意義を再認識し、関係機関との連携を図りながら、交流や体験を目的としたスポーツイベントや教室を開催していきます。

##### ②障がい者にやさしいスポーツ環境の整備【継続】

障がい者にとって、快適で使いやすい公共スポーツ施設であるように、バリアフリー化などの整備を進めるとともに、ニュースポーツ用具の充実や貸し出しの情報提供に努めていきます。

## ■重点項目 3)子どものスポーツの育成・強化

### 施策 3)-1 子どもの体力向上

#### 現在の具体的取組

##### ①幼児期からの子どもの運動機会の充実

主な事業:市体育協会主催の幼児運動あそび教室、幼児～小学生対象かけっこ教室等

##### ②学校体育の充実

主な事業:学校ごとに取り組む「体力向上プラン」、小学校体育アシスタント派遣事業

学校体育振興事業(小学校陸上競技大会の開催他)等

#### 現状及び課題

- 本市の児童生徒の体力の平均は、全国平均を上回る状況であるが、一方で運動・スポーツをする・しないの二極化が進んでいる。
- 教育委員会や市体育協会をはじめ、体育の授業や教室を通して、幼児期や小学校の早い段階から運動・スポーツへの関心を高める取組を行っている。

#### 今後の具体的取組

##### ①幼児期からの子どもの運動機会の充実【継続】

幼児期からの積極的な運動・スポーツへの取組は、する・しないの二極化の解消にも繋がり、生涯スポーツを推進していく上で重要になっていきます。

今後も、市体育協会やスポーツ推進委員及び幼稚園、保育園等と連携し、幼児期からの子どもの運動機会の充実に努めていきます。

##### ②学校体育の充実【継続】

学校体育の充実は、児童生徒の体力向上や健康増進に繋がり、運動・スポーツの楽しさや喜びを体感できる重要な取組となってきます。

今後も、各小中学校での体力向上プランの推進や体育及び保健体育の授業の充実に努めていきます。

## 施策 3)-2 スポーツ少年団、運動部活動の充実

### 現在の具体的取組

#### ①小中学校と地域の連携強化

主な事業:小中学校連携スポーツ振興事業

(小中学校の指導者と児童生徒間の交流や連携を深めるため合同練習会等を実施)

### 現状及び課題

- 本市のスポーツ少年団の加入率は、総児童数に対し、過去5年間で約20%前後となっている。
- 本市の中学校の運動部活動の加入率は、総生徒数に対し、男子が約70%、女子が約50%である。過去5年間で男女ともに、運動部活動の加入率が4%程度下降しているが、男子については、クラブチーム化している種目があること、女子については、文化部への加入が背景にある。
- 望ましいスポーツ環境の構築と指導者の負担軽減の観点から、平成30年に国や県並びに市が運動部活動の方針を示している。今後、適切な運動部活動の運営に努めていく必要がある。

### 今後の具体的取組

#### ①小中学校と地域との連携強化【継続】

今後も継続して小中学校の一貫した指導体制の整備や運動部活動への加入促進に努めていきます。

#### ②児童生徒の適切な運動・スポーツ活動の推進【新規】

市スポーツ少年団憲章及び市中学校部活動方針をもとに、児童生徒の心身の発達や体力に応じ、活動頻度や時間などに配慮し、バランスのとれた運動・スポーツ活動が行えるよう、努めていきます。

### 施策 3)-3 児童生徒の競技力向上

#### 現在の具体的取組

##### ①ジュニアアスリートの発掘、育成

主な事業:ジュニアアスリート強化推進事業

(市体育協会と競技団体が連携し、練習会や合宿等を実施)

トップアスリート発掘・育成事業

(6年後の国スポ・障スポ大会を見据え、将来的に活躍できる選手を発掘・育成する事業)

##### ②指導者の育成と資質向上

主な事業:スポーツ少年団活動支援事業(指導者講習会への補助)等

#### 現状及び課題

- 市や市体育協会並びに競技団体等が連携し、本市のジュニアアスリートの競技力向上推進のための事業を行っている。
- 今後も引き続き、子どもたちの能力や個性を生かしつつ、本来の運動・スポーツの意義を子どもたちに理解させる指導者の育成及び資質向上に努めていく必要がある。
- 6年後の国スポ・障スポ大会を見据え、今後、更に市並びに関係機関が連携し、競技力向上に努めていく必要がある。

#### 今後の具体的取組

##### ①国民スポーツ大会等を見据えたジュニアアスリートの発掘、育成【追加】

6年後の国スポ・障スポ大会を見据え、市や市体育協会並びに競技団体等が連携し、本市のジュニアアスリートの競技力向上を図り、将来的に国内外でも活躍できる選手の育成に努めていきます。

##### ②指導者の育成と資質向上【継続】

今後も、子ども達に運動・スポーツの楽しさや喜びを理解させることができる指導者を育成し、専門的な知識や指導方法を習得できる講習会等の参加への啓発に取り組んでいきます。

## ■重点項目 4)高年齢者の運動・スポーツの推進

### 施策 4)-1 高年齢者の運動・スポーツの普及・拡大

#### 現在の具体的取組

##### ①高年齢者が参加しやすいスポーツ教室等の推進

主な事業:みんなで体操みんなで健幸事業等

##### ②高年齢者にやさしいスポーツ環境の整備

主な事業:みんなでロコトレ推進事業、どこでもロコモ予防事業等

#### 現状及び課題

- 本市の総人口に対する65歳以上の高年齢者の割合は約27%を占めており、今後より一層、介護予防や健康増進等への取組が必要になると考えられる。
- 本市の65歳以上の高年齢者の週1回以上の運動・スポーツ実施率は、約55%となっており、今後5年間で成果指標の目標値70%まで引き上げるには対策を講じる必要がある。
- 65歳以上の高年齢者が過去1年間で行った運動・スポーツの上位は、「散歩、ウォーキング」、「筋力トレーニング」、「ゴルフ」である。
- 高年齢者は、「スポーツ」よりも「運動」へのニーズが高い。

#### 今後の具体的取組

##### ①高年齢者が参加しやすい運動・スポーツ教室等の実施【追加】

高年齢者にとっての身体活動注5)の意義や効果を再確認でき、気軽に余暇時間にもできる運動やスポーツ教室等を関係機関と連携し、推進していきます。

##### ②高年齢者にやさしい運動・スポーツ環境の整備【追加】

今後も継続して、高年齢者が公民館や交流センターなど身近な施設で、運動・スポーツ活動ができるよう環境の整備に努めていきます。

注5)身体活動

生活活動(日常生活を営む上で必要な労働や家事等)と運動(ウォーキングや体操など健康増進や体力向上のため行う活動)を合わせた活動の総称

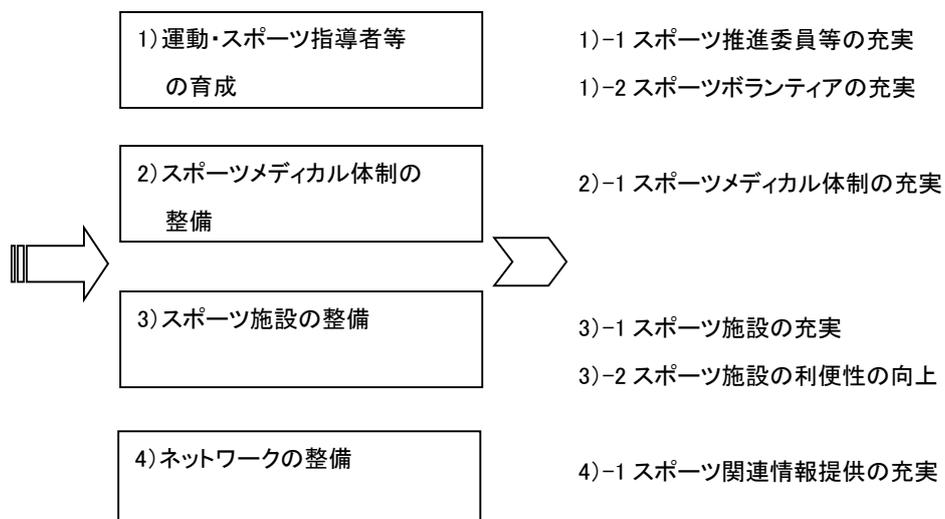
## 2つ目の柱

# Ⅱ 支えるスポーツの環境の整備

### 【柱】

### 【重点項目】

### 【施策】



▲青島太平洋マラソン

## ■重点項目 1)運動・スポーツ指導者等の育成

### 施策 1)-1 スポーツ推進委員等の充実

#### 現在の具体的取組

##### ①スポーツ推進委員の育成・資質の向上

主な事業:地域スポーツ振興事業(地区対抗スポーツ大会の委託、研究大会への派遣等)

#### 現状及び課題

- 本市のスポーツ推進委員は、地域でのスポーツ大会等の運営や自主研修を行い、資質向上に努めている。
- 平成 27 年度より、宮崎公立大の学生をスポーツ推進委員として委嘱しており、新しい発想で、スポーツイベントの企画、運営を行っている。
- 地域まちづくり推進委員会や健康づくり推進協議会との連携が求められている。

#### 今後の具体的取組

##### ①スポーツ推進委員の育成・資質の向上【継続】

市民スポーツ並びに地域スポーツの活性化と地域のコーディネーターとしての役割を担えるよう、地域の関係組織との連携を深めながら、今後も委員一人ひとりの育成と資質向上に努めていきます。

## 施策 1)-2 スポーツボランティアの充実

### 現在の具体的取組

#### ①スポーツボランティアの育成・体制確立

主な取組:青島太平洋マラソンや市及び市体育協会主催事業等へのスポーツボランティアへの協力等

### 現状及び課題

- 過去1年間にスポーツボランティアに参加した市民は、約5%である。
- 市民の障がい者スポーツの体験会や大会へのボランティアの参加意向については、約13%の市民が参加したいと回答している。(再掲)
- 青島太平洋マラソンにおいては、充実したスポーツボランティアの体制が確立されている。
- 6年後の国スポ・障スポ大会においては、多数のスポーツボランティアが必要になると考えられる。

### 今後の具体的取組

#### ①スポーツボランティアの育成・体制確立【継続】

東京オリ・パラ大会をはじめとする大会をスポーツボランティア普及の好機とし、また6年後の国スポ・障スポ大会も見据え、各種スポーツ大会での受付から障がい者スポーツのサポートまで幅広く活動が担えるスポーツボランティアの育成と体制の充実に努めていきます。

## ■重点項目 2)スポーツメディカル体制の整備

### 施策 2)-1 スポーツメディカル体制の充実

#### 現在の具体的取組

##### ①スポーツメディカル体制の推進

主な事業:スポーツドクター活用事業(平成 28 年度で事業廃止)

#### 現状及び課題

- 本市のジュニアアスリートを対象に、平成 26 年度より各種スポーツ大会へのスポーツドクターの派遣や宮崎大学医学部に設置されているメディカルチェックの施設を活用した理学・臨床検査や動作解析を行い、競技力向上に繋げる事業を行っていた。しかしながら、スポーツドクターとの調整やメディカルチェックの結果を選手にフィードバックすることが困難となり、事業開始 3 年でスポーツドクター活用事業は廃止となった。
- 単独のメディカル事業ではなく、既に行っているジュニアアスリートの競技力向上事業に対し、スポーツドクターや理学療法士等を派遣し、専門的な講話や実技指導を行うことを検討していく。

#### 今後の具体的取組

##### ①スポーツメディカル体制の推進【継続】

宮崎大学医学部をはじめとする関係機関と連携し、本市の競技力向上を図る事業に対して、スポーツドクターや理学療法士等を派遣し、本市のスポーツメディカル体制の推進に努めていきます。

## ■重点項目 3)スポーツ施設の整備

### 施策 3)-1 スポーツ施設の充実

#### 現在の具体的取組

##### ①公共スポーツ施設、スポーツ器具の整備

主な事業:社会体育施設備品整備事業、社会体育施設維持管理、加納公園整備事業、木崎浜管理費等

##### ②公共スポーツ施設の長寿命化

主な事業:社会体育施設改善事業等

#### 現状及び課題

- 市民が公共スポーツ施設に望んでいることの上位は、「利用案内チラシの充実」、「利用手続きを分かりやすくしてほしい」、「施設の数を増やしてほしい」となっている。
- 本市の公共施設等総合管理計画の方針のもと、既存の公共スポーツ施設の長寿命化に努めるため、建物の劣化防止や適切な保全に取り組んでいる。
- 6年後の国スポ・障スポ大会を見据え、大会開催基準等に則った公共スポーツ施設の整備が必要になってくると考えられる。

#### 今後の具体的取組

##### ①公共スポーツ施設、スポーツ器具の整備【継続】

市民が運動・スポーツする「場」として、またスポーツ大会や合宿等を受け入れる施設として、今後も快適かつ安全な公共スポーツ施設の整備及びスポーツ器具の整備に努めていきます。

##### ②公共スポーツ施設の長寿命化【継続】

公共スポーツ施設の効果的かつ効率的な機能を維持しながら、公共施設の評価をもとに、施設の長寿命化に努めていきます。また、施設改修時には、関係部署等との情報共有や連携を図る体制を整えていきます。

##### ③国民スポーツ大会・障害者スポーツ大会を見据えた公共スポーツ施設、

##### スポーツ器具の整備【新規】

6年後の国スポ・障スポ大会に向けて、施設等の整備を進めていきます。

なお、整備を行うにあたっては、コストやSDGsの理念のもと、社会情勢の変化を見極めながら、大会終了後の利活用等を念頭に、関係機関等と連携し、慎重に進めていきます。

## 施策 3)-2 スポーツ施設の利便性の向上

### 現在の具体的取組

#### ①指定管理者制度におけるサービスの向上

主な事業:生目の杜運動公園、市総合体育館指定管理、公共施設予約案内システム管理等

#### ②学校体育施設の活用

主な事業:学校体育施設開放事業

### 現状及び課題

- 市民が公共スポーツ施設に望んでいることの上位は、「利用案内チラシの充実」、「利用手続きを分かりやすくしてほしい」、「施設の数を増やしてほしい」となっている。(再掲)
- 平成 30 年度に市総合体育館にて実施した利用者アンケートでは、利用に係る総合的な満足度は 74%に上っている。
- 市内小中学校の全 72 校にて、学校教育に支障のない範囲で、体育館や運動場等を開放し、市民スポーツ及び地域スポーツの推進に繋がっている。

### 今後の具体的取組

#### ①指定管理者制度におけるサービスの向上【継続】

今後も引き続き、指定管理者と連携し、利用者に対する迅速で丁寧な窓口対応に努めていくとともに、指定管理者のノウハウを生かした自主事業の実施など、サービスの向上に努めていきます。

#### ②学校体育施設の活用【継続】

各小中学校が設置する学校体育施設開放事業運営協議会や総合型クラブ、並びにスポーツ推進委員と連携し、円滑な開放事業に努めていきます。

## ■重点項目 4)ネットワークの整備

### 施策 4)-1 スポーツ関連情報提供の充実

#### 現在の具体的取組

##### ①スポーツの広報・周知活動の推進

主な取組:市広報紙やホームページへの大会やイベント情報の掲載、SNSを活用した情報発信等

##### ②スポーツ関連情報の一元化

主な取組:公共施設予約案内システムの活用等

#### 現状及び課題

- 市民が本市のスポーツ推進のために力を入れてほしい取組の1つに、「運動・スポーツに関する情報発信の充実」が挙げられている。
- 市民のニーズを考慮し、紙面やメディアでの情報提供と併せ、インターネットやSNSを活用した情報発信にも努めていく必要がある。
- スポーツ大会やイベント等の担当機関により、情報発信の手段や方法が異なっている。市民が、スポーツ関連情報を入手しやすいよう、関係機関との情報共有や連携を図ることが必要である。

#### 今後の具体的取組

##### ①スポーツの広報・周知活動の推進【継続】

市民のニーズや背景を考慮し、市民にとって分かりやすい紙面づくりやメディアでの情報提供と併せ、インターネットやSNSを活用した情報発信にも積極的に努めていきます。

##### ②スポーツ関連情報の一元化【継続】

運動・スポーツの関連事業や大会等を実施する関係機関と連携し、市民がいつでも、どこでも、だれでも情報を入手できる体制を検討していきます。

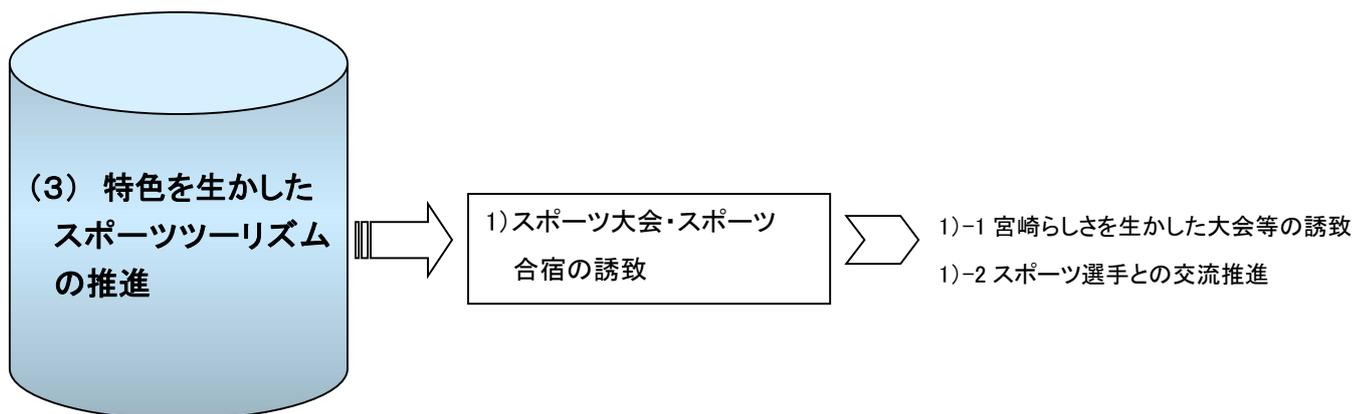
3つ目の柱

Ⅲ 特色を生かしたスポーツツーリズムの推進

【柱】

【重点項目】

【施策】



▲テゲバジャーロ宮崎 サッカー教室

## ■重点項目 1)スポーツ大会・スポーツ合宿の誘致

### 施策 1)-1 宮崎らしさを生かした大会等の誘致

#### 現在の具体的取組

##### ①国際及び全国大会、合宿の誘致・受入れ

主な事業:スポーツ等合宿受入事業、プロ野球宮崎キャンプ受入事業

##### ②東京オリンピック・パラリンピックの調整合宿の誘致

主な事業:東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致事業、

東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業

#### 現状及び課題

- 本市にて合宿を行っている団体が、他の市町村に合宿地を変更している状況があり、支援方法等の検討が必要になっている。
- 市民のプロスポーツキャンプに関する関心度は、約 48%となっている。
- トライアスロンなどの競技が、東京オリ・パラ大会に向けた調整合宿を行っており、宮崎らしさを生かしたスポーツ環境のPRに繋がっている。
- 本市の恵まれた自然や景観、スポーツ施設を観光資源として生かし、市民や観光客が気軽に楽しめるレジャースポーツの推進を検討する必要がある。
- 本市では、年間を通してスポーツキャンプや大会等が行われている。そのような背景から、市民のスポーツへの関心度を上げ、スポーツを観戦することによる交流や経済の活性化等に繋がる取組の検討が必要である。

### 今後の具体的取組

#### ①国際及び全国大会、合宿の誘致・受入れ【継続】

これまでの大会や合宿の誘致、受入れの実績をもとに、今後も温暖な気候や充実したスポーツ施設を生かし、関係機関と連携しながら、誘致や受入れ体制の充実に努めていきます。

#### ②レジャースポーツの推進【新規】

本市の恵まれた自然や景観、スポーツ施設を観光資源として生かし、市民や観光客が気軽に楽しめるレジャースポーツの推進を図っていきます。

#### ③東京オリンピック・パラリンピックの調整合宿の誘致【継続】

今後も引き続き、関係機関と連携し、東京オリ・パラ大会に向けた調整合宿の誘致に取り組んでいきます。

#### ④「みるスポーツ」、「応援するスポーツ」の推進【新規】

市民のスポーツを観戦する機会を充実させることにより、人との交流や地域経済の活性化等に繋がることを期待されることから「みるスポーツ」、「応援するスポーツ」の推進に努めていきます。

## 施策 1)-2 スポーツ選手との交流推進

### 現在の具体的取組

#### ①トップレベル選手等との交流機会の充実

主な取組:プロ野球選手やリーグ選手等のスポーツ教室等

### 現状及び課題

○子どもたちを対象に、本市にてキャンプや合宿を行うトップレベル選手によるスポーツ教室が行われている。トップレベルの選手のプレーに触れたり、選手からの実技指導等を受けることは、子どもたちに夢を与え、スポーツを続けていく上での目標となるなどの効果が認められる。

### 今後の具体的取組

#### ①トップレベル選手等との交流機会の充実【継続】

今後も、トップレベルの選手との交流機会の場を設け、子どもたちの健全育成や競技力向上に繋がることが期待できるスポーツ教室等の充実に努めていきます。

## 2. 中間年度の成果指標到達状況と見直し

本計画では、9つの重点項目ごとに成果指標を設定しています。市民意識調査の結果や市の関係機関への調査の結果をもとに、本計画の中間年度の成果指標の数値は以下のとおりとなりました。

成果指標については、目標値の達成状況を踏まえ、目標値の再検討を行いました。

また、成果指標の中には、事業の廃止に伴い今後成果指標として機能しない項目もあるため、併せて成果指標の内容の見直しも行いました。

### ◆重点項目 地域スポーツの推進

成果指標【継続】	指標設定当時	中間年度	目標年度
	H25年度 (2013年度)	H30年度 (2018年度)	R6年度 (2024年度)
成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率	46.4%	41.9% 目標値に対する達成率 64.4%	65%

実施率向上には、特に働き世代、子育て世代へのアプローチが、今後、重要！

### ◆重点項目 障がい者スポーツの推進

成果指標【目標値の変更】	指標設定当時	中間年度	目標年度
	H25年度 (2013年度)	H30年度 (2018年度)	R6年度 (2024年度)
市主催の障がい者スポーツ教室等の参加人数	250人	190人 目標値に対する達成率 19%	1,000人 ↓ <u>350人</u>

目標値の検討が必要！

◆重点項目 子どものスポーツの育成・強化

成果指標【継続】	指標設定当時	中間年度	目標年度
	H25 年度 (2013 年度)	H30 年度 (2018 年度)	R6 年度 (2024 年度)
全国スポーツ大会に出場した児童生徒(小・中・高数)	660 人	871 人 <small>目標値に対する達成率 87.1%</small>	1,000 人

施策を継続し、指標達成を目指す！

◆重点項目 高齢者の運動・スポーツの推進

成果指標【継続】	指標設定当時	中間年度	目標年度
	H25 年度 (2013 年度)	H30 年度 (2018 年度)	R6 年度 (2024 年度)
高齢者(65 歳以上)の週 1 回以上の運動・スポーツ実施率	63.9%	55.3% <small>男性 58.4% 女性 52.2% 目標値に対する達成率 79%</small>	70%

施策を継続し、指標達成を目指す！

◆重点項目 運動・スポーツ指導者等の育成

成果指標【継続】	指標設定当時	中間年度	目標年度
	H25 年度 (2013 年度)	H30 年度 (2018 年度)	R6 年度 (2024 年度)
スポーツ大会や地域でのスポーツイベントのスポーツボランティア参加率	4.6%	4.7% <small>目標値に対する達成率 47%</small>	10%

※↑市民意識調査の結果

施策の検討が必要

◆重点項目 スポーツメディカル体制の整備

成果指標【削除】	指標設定当時	中間年度	目標年度
	H25 年度 (2013 年度)	H30 年度 (2018 年度)	R6 年度 (2024 年度)
本市のスポーツメディカル事業の利用団体数	7 団体	H28 年度で 事業終了	—



成果指標【新規】	指標設定当時	中間年度	目標年度
	H25 年度 (2013 年度)	H30 年度 (2018 年度)	R6 年度 (2024 年度)
市の児童生徒を対象にした競技力向上事業へのスポーツドクター等の派遣回数	—	—	<u>10 回</u>

指標の再検討

トップアスリート発掘・育成事業…2 回  
ジュニアアスリート強化推進事業…8 回 計 10 回

◆重点項目 スポーツ施設の整備

成果指標【継続】	指標設定当時	中間年度	目標年度
	H25 年度 (2013 年度)	H30 年度 (2018 年度)	R6 年度 (2024 年度)
公共スポーツ施設の利用者の満足度割合	—	74% 目標値に対する達成率 92.5%	80%

※↑市総合体育館利用者の満足度

指標達成を目指すとともに、他のスポーツ施設での調査も必要！

◆重点項目 ネットワークの整備

成果指標【目標値の変更】	指標設定当時	中間年度	目標年度
	H25 年度 (2013 年度)	H30 年度 (2018 年度)	R6 年度 (2024 年度)
市主催、共催で行われる教室、健康づくり教室等の延べ参加者数	47,400 人	76,720 人 目標値に対する達成率 127.9%	60,000 人 ↓ <u>105,000 人</u>

◆重点項目 スポーツ大会・スポーツ合宿の誘致

成果指標【継続】	指標設定当時	中間年度	目標年度
	H25 年度 (2013 年度)	H30 年度 (2018 年度)	R6 年度 (2024 年度)
トップレベルの選手等との教室や交流会に参加した児童生徒数	2,436 人	3,755 人 目標値に対する達成率 75.1%	5,000 人

施策を継続し、指標達成を目指す！

また、計画の3つ目の柱である「特色を生かしたスポーツツーリズムの推進」に繋げていくため、新たな指標を設定しました。

成果指標【新規】	指標設定当時	中間年度	目標年度
	H25 年度 (2013 年度)	H30 年度 (2018 年度)	R6 年度 (2024 年度)
市民のスポーツ観戦の実績度	36.6%	38.8% 目標値に対する達成率 86.2%	<u>45%</u>

成果指標【新規】	指標設定当時	中間年度	目標年度
	H25 年度 (2013 年度)	H30 年度 (2018 年度)	R6 年度 (2024 年度)
市民のスポーツキャンプや合宿に関する関心度	52.8%	48.4% 目標値に対する達成率 88%	<u>55%</u>

### 3. 今後、重要となるキーワード

キーワード

# スポーツ・イン・ライフ



本計画の施策 1)-2) の「スポーツ・イン・ライフの定着化」については、国が平成 30 年 9 月に具体的な行動計画を示しています。国及び本市においては、成人の週 1 回以上の運動・スポーツ実施率の目標値を 65%と設定していますが、達成に向けては、更なる具体的な取組が必要です。国としても、目標値達成までの道程は決して平坦なものではないとしており、国民一人ひとりがこれまでのスポーツの捉え方を変えていくとともに、スポーツに取り組むきっかけを得やすい環境が必要であるとしています。

国が示している「スポーツ実施率向上のための行動計画～スポーツ・イン・ライフを目指して」での主な具体的取組を参酌しながら、本市としても、関係機関と連携を図り、成人の運動・スポーツの実施率の向上に努めていきます。

本市のスポーツ・イン・ライフに繋がる事業(例)

- ◆ニュースポーツ用具の貸し出し
- ◆高齢者対象の健康教室、健康指導
- ◆就業前の職域でのラジオ体操の啓発 等

宮崎市総合型地域スポーツクラブ広報紙

みんな！スポーツ好き？それともきらい？

どんな感じでスポーツしたい？

スポーツの価値は「五感らし」だから遊びながら楽しみたい！

よきになりたいな、いろいろな技術を教えてほしい！

強くなりたいな、自分を高めたい！

スポーツっていいな！

みんなを応援したい！

家の近くで、家族や友達と一緒にいろいろな種目をやってみよう！

何かお手伝いもしたいな！

いろいろな楽しみ方を発見するために生まれたのが総合型地域スポーツクラブ！

みんなの願いをかなえるために生まれたのが総合型地域スポーツクラブ！

「総合型地域スポーツクラブ」は、地域のみんなが楽しくみんなのクラブです。みんながスポーツを好きになって、元気で暮らす手助けもしてくれることを願っています！

発行：宮崎スポーツランド事務局 製作協力：宮崎総合型地域スポーツクラブ協議会

2019年度健康みやざきマイレージ

楽しみながら健康づくりをしよう！

01 健康みやざきマイレージとは？

健康づくりに取り組む人だけの特権です。健康や宮崎市主催の健康づくり事業(イベント)に参加し、ポイントを集めて応募すると抽選で賞品が当たる仕組み(12ページ参照)。

ポイントステーションに対象となる事業(イベント)に参加したことが分かるもの(観覧記録など)を持っていくとポイントが貯まります。

ポイントステーション 8ヶ所あります。4ページをご覧ください。

対象 小学生以上の宮崎市民が対象！

02 参加方法

ステップ① ポイントカードを入手する (3・4ページ参照)

ステップ② 対象事業(イベント)に参加しポイントを集める (4ページ参照)

ステップ③ 抽選応募 (5・6ページ参照)

抽選、ポイントステーションで応募した方には、抽選券をプレゼント！抽選1000名はポイントステーションで抽選となります。

お問い合わせ

宮崎市健康支援課からの健康係  
〒880-0877 宮崎市健康センター1F 健康係2  
TEL.0985-29-5286 FAX.0985-23-5208  
Email:1f@citymiyazaki.miyazaki.jp

あなたの体力 今の価値は？

元気度アップ!

第2回宮崎市民一斉体力測定

令和元年 会場 宮崎総合体育館

10/14 宮崎中央公園テニスコート

1日 9時00分～2日目 10時40分～

3日目 13時30分～4日目 14時40分～

5日目 15時30分～

※抽選、60分前から受付を行います。

参加費 無料

対象者 小学生以上(0歳以下は保護者同伴) 各府 100人(定員を超えた場合は抽選)

申込方法 事前申込み。事前に必要事項をご記入の上、(公財)宮崎県体育協会まで

申込締切 9月27日(日)

参加者特典 スーパースポーツゼビオ割引券、スポーツゼリ、ポテトチップスドリンク

成績優秀者特典 オリジナルTシャツ

その他のメニューもお楽しみください。(注:抽選)

抽選券抽選・抽選結果発表 (20歳以上)

抽選券抽選・抽選結果発表 (20歳未満)

スポーツ支援 (スポーツウェア、バックパック、シューズ)

スポーツ支援 (スポーツウェア、バックパック、シューズ)

## スポーツ実施率向上のための行動計画～スポーツ・イン・ライフを目指して～（抜粋）

※平成 30 年 9 月 6 日 スポーツ庁策定

今般の行動計画を取りまとめるに当たっては、一人でも多くの方がスポーツに親しむ社会の実現を目的とし、生活の中に自然とスポーツが取り込まれている「スポーツ・イン・ライフ」(生活の中にスポーツを)という姿を目指した。

### スポーツ実施率向上のための具体的取組

スポーツ実施率の向上のためには、現在、スポーツを実施していない者を中心に、どのように働きかけを行っていくかという検討が中心となる。

実際には、一人一人のスポーツに対する意識や態度、境遇等が多種多様であることから、個別に対応することは現実的でなく、一定の限界を念頭に置きつつも、年代、性別等による対象毎に、その対応を考えていく必要がある。

そこで、まず、「全体」を対象とした取組を俯瞰しつつ、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎づくりが求められるが、スポーツの実施について二極化が課題である「子供・若者」、特にスポーツ実施率の低い「ビジネスパーソン」、相対的にはスポーツ実施率が高いが、健康・体力の保持等が必要であり、スポーツにより生活習慣病の改善や介護予防等が期待される「高齢者」について、それぞれの年代を対象とした取組をまとめた。加えて、男性と比較してスポーツ実施率の低い「女性」、スポーツ実施率が低く、未実施率の 8 割超の無関心層である「障害者」を対象とした取組も併せてまとめることとした。

#### [1]施策の対象

- ・子供・若者(スポーツの実施について二極化が課題である)
- ・ビジネスパーソン(特にスポーツ実施率が低い、20代から50代までのスポーツ実施率は全体の平均を下回っている)
- ・高齢者(相対的にはスポーツ実施率が高いが、健康・体力の保持等が必要である)
- ・女性(男性と比較してスポーツ実施率が低い)
- ・障害者(スポーツ実施率が低く、未実施者の8割超が無関心層である)

#### [2]施策の段階

- ・スポーツをする気にさせる施策
- ・スポーツをするために必要な施策
- ・スポーツを習慣化させるための施策

#### [3]施策に取り組むべき主体

- ・国(政府) ・地方自治体 ・産業界(企業・スポーツ産業) ・スポーツ団体等(ボランティア団体・大会運営組織等を含む) ・医療福祉関係者(医療保険者等を含む)

キーワード

第 81 回国民スポーツ大会

第 26 回全国障害者スポーツ大会



2026 年に本県で 2 巡目となる「国スポ・障スポ大会」が開催予定となっています。

国内最大のスポーツの祭典である、「国スポ・障スポ大会」を成功裏に収めるためにも、県、各市町村、各競技団体、及び市民が一体となり、開催に向けた準備を進めることが必要不可欠です。

本計画においても、国スポ・障スポ大会の開催に向けた取組を反映し、本市の競技力向上や市民スポーツの活性化等に繋げていきたいと考えています。

### 第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会

#### ■開催までの主なスケジュール(予定)

- ～令和 2 年度…正式競技会場地市町村選定
- 令和 3 年度 …準備委員会の設置
- 令和 5 年度 …準備委員会から実行委員会への組織変更
- 令和 7 年度 …リハーサル大会の開催
- 令和 8 年度 …第 81 回国民スポーツ大会、第 26 回全国障害者スポーツ大会の開催

#### ■本市での開催が予定されている正式競技(令和 2 年 3 月現在)

- ①ソフトテニス
- ②ボウリング
- ③ゴルフ
- ④テニス
- ⑤ハンドボール(少年男女)
- ⑥自転車(トラック)
- ⑦ライフル射撃(CFP/成年男子)
- ⑧ラグビーフットボール(7 人制/成年男子・女子)、(15 人制/少年男子)
- ⑨空手道
- ⑩卓球

キーワード

「みるスポーツ」、

「応援するスポーツ」の推進



運動・スポーツは、健康で豊かな生活を送ることができ、人と人との交流や地域の再生や活力を生み出すとともに、子どもたちに夢を与えるなど、様々な相乗効果をもたらします。

本市は、年間を通して、様々なスポーツ大会やプロからアマチュアまでのスポーツキャンプ等が行われています。本市で開催される各種スポーツ大会並びにスポーツキャンプ等の魅力を本市並びに全国に発信することで、「みるスポーツ」からその先にある「応援するスポーツ」へと繋がり、様々な相乗効果が期待できると考えています。

上記のような背景により、本市の特色を生かした「みるスポーツ」、「応援するスポーツ」の推進を本計画の新たな取組として加えていくこととします。



▲ラグビーワールドカップ 2019 日本大会パブリックビューイング



## 第4章 今後5年間の計画の推進に向けて

---

# 1. スポーツ推進体制の整備

## 「3つの柱」の相互連動

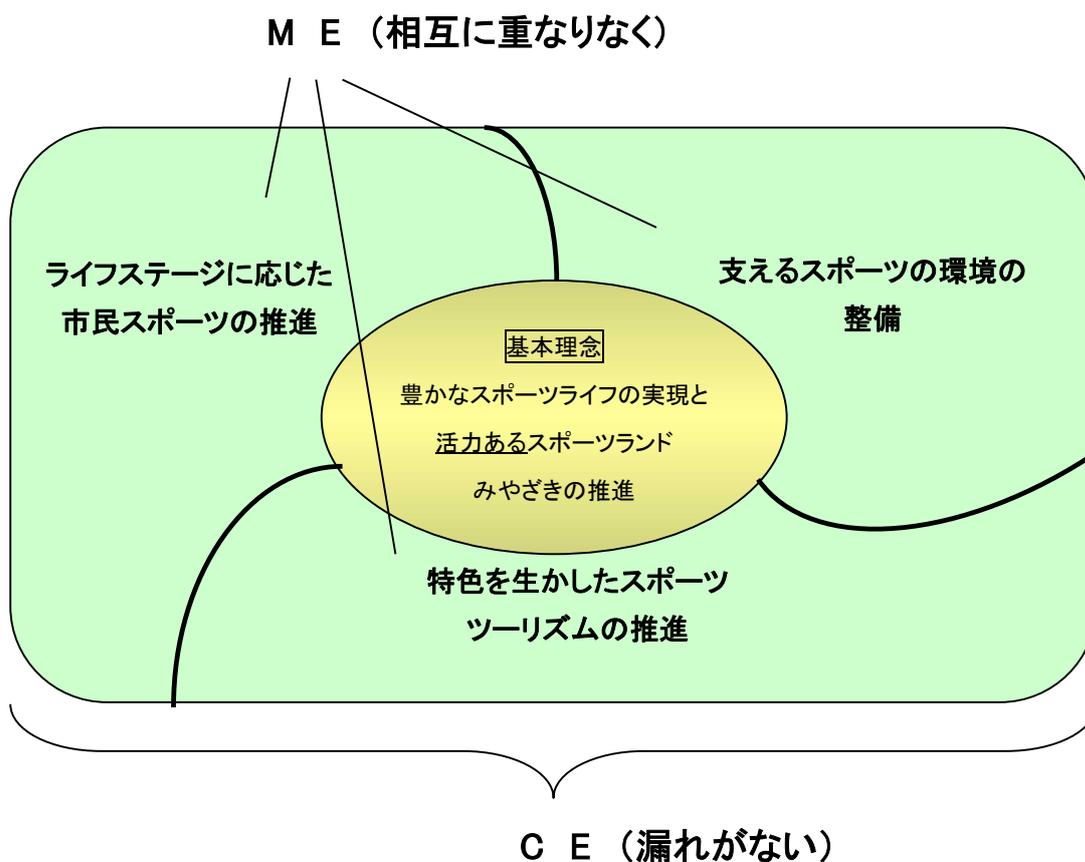
本計画の基本理念「豊かなスポーツライフの実現と活力あるスポーツランドみやぎきの推進」を支える3つの柱「ライフステージに応じた市民スポーツの推進」、「支えるスポーツの環境の整備」、「特色を生かしたスポーツツーリズムの推進」の各々がMECE(ミッシェー)という概念をもとに、連携と相互の連動を図ることにより、効果的に施策が展開されるよう努めます。

## 【宮崎市のスポーツ推進体制】

MECE(ミッシェー)とは？…ある事柄を重なりなく、しかも漏れのない集合体として捉えること。

Mutually Exclusive Collectively Exhaustive

(相互に重なりなく) (漏れがない)

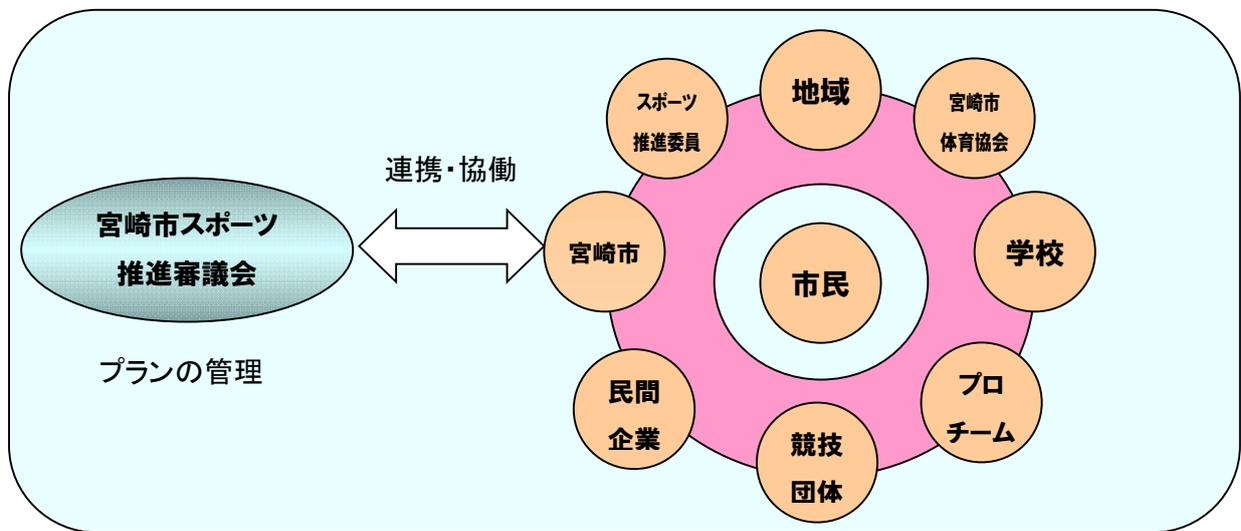


## 2. 計画の推進体制

本計画で定めている目標は、行政だけでは到達、達成はできません。市民の皆様をはじめ、スポーツ推進委員や(公財)宮崎市体育協会、競技団体、プロスポーツチーム、学校、民間企業等の関係団体及び本市が、それぞれの役割を踏まえ、連携・協働を図りながら、本計画の実現を目指します。

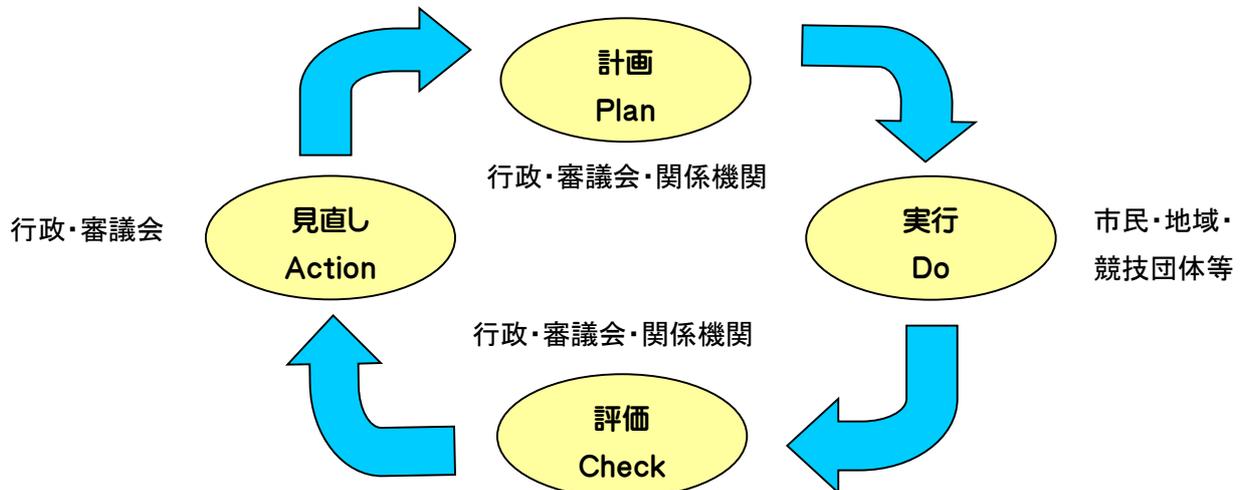
本計画の推進にあたっては、計画の進捗状況の把握等を行うとともに、宮崎市スポーツ推進審議会において、進捗状況等の報告を行い、計画の進行管理を行っていきます。

【計画の推進体制のイメージ】



## 3. 計画のチェックとローリング

本計画に示された施策と具体的取組を実現するために、各施策の実施状況の把握に努めます。市民のニーズの変動、社会情勢の変化、財政状況などの運動・スポーツを取り巻く環境変化に適切に対応できるよう、「計画(Plan)」「実行(Do)」「評価(Check)」「見直し(Action)」という一連の流れを繰り返し、計画のローリングを行います。

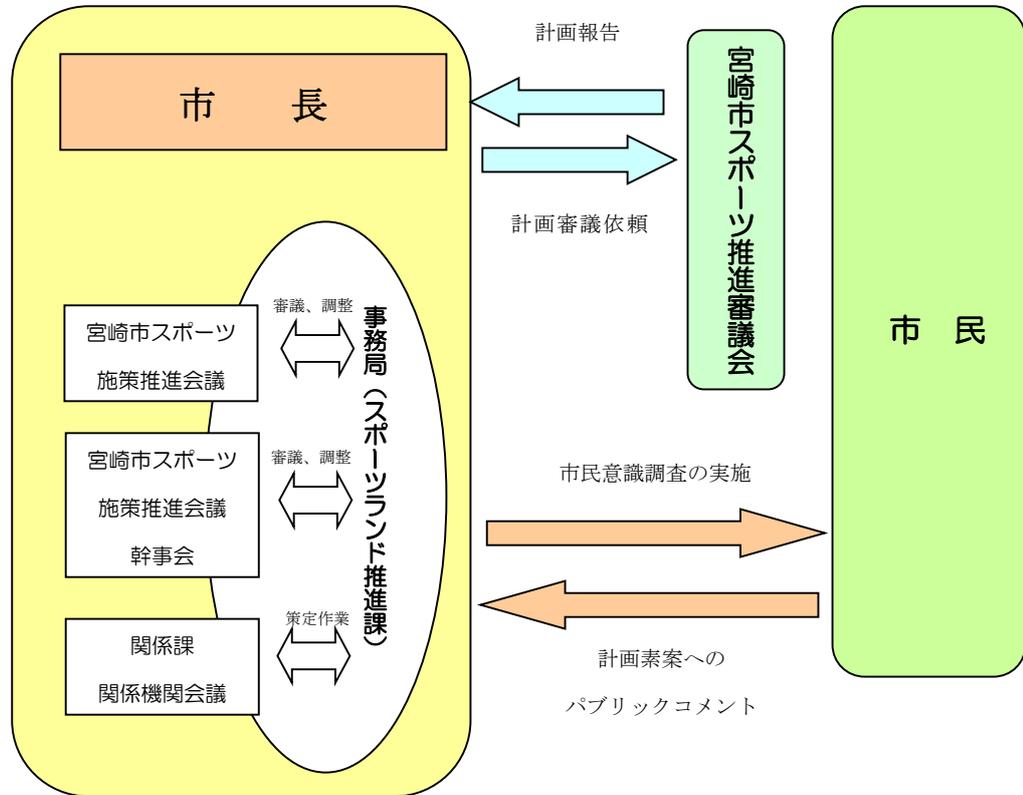




## 參考資料

---

## 宮崎市スポーツ推進計画の策定体制



### 宮崎市スポーツ推進審議会

学識経験者や関係行政機関等で構成し、本市のスポーツ施策の計画について審議する組織です。

### 宮崎市スポーツ施策推進会議

関係する各部局長で構成し、本市のスポーツ施策の計画に関する事項について審議、調整する組織です。

### 宮崎市スポーツ施策推進会議幹事会

関係する各課長等で構成し、本市のスポーツ施策の計画素案について審議、調整する組織です。

### 関係課・関係機関会議

宮崎市スポーツ推進計画見直し等に係る関係課、関係団体職員から構成される組織です。

## 宮崎市スポーツ推進審議会委員名簿(令和2年3月現在)

	氏名	所属・役職等
会長	宮元 章次	宮崎公立大学教授
副会長	小嶋 忠史	宮崎市スポーツ少年団本部長
委員	小川 敬	障がい者スポーツ指導者
〃	濱砂 道世	女性スポーツ指導者
〃	原田 茂樹	宮崎市小学校体育連盟会長
〃	古川 康二	宮崎地区中学校体育連盟会長
〃	野崎 伸一	(公財)宮崎市体育協会会長
〃	川野 芳雄	宮崎市地区体育会連合会会長
〃	高橋 るみ子	宮崎大学産学・地域連携センター 客員教授
〃	川本 忠	宮崎県スポーツ指導センター所長

※任期 令和元年7月1日～令和3年6月30日

※敬称略、順不同

## 宮崎市スポーツ推進計画(中間見直し)の審議経過

年度	年月	内容
平成30年度	平成30年10月1日 ～11月9日	市民の運動・スポーツに関する調査 ・対象・・・市民4,000人
	平成30年12月1日 ～12月17日	小中学生の生活、スポーツに関するアンケート ・対象・・・市内小中学生591名
	平成30年12月8日 ～平成31年2月19日	アンケートの集計及び分析
	平成31年2月19日	市スポーツ推進審議会委員への市民及び小中学生アンケート結果送付
	平成31年3月26日	市スポーツ推進計画関係課・関係機関会議 ・市民及び小中学生アンケート結果報告、計画の進捗状況等協議
令和元年度	令和元年8月8日	市スポーツ推進審議会委員 委嘱状交付式 ・任期・・・令和元年7月1日 ～令和3年6月30日
	令和元年10月24日	市スポーツ推進計画関係課・関係機関会議 ・市スポーツ推進計画(改訂版)素案協議①
	令和元年12月16日	市スポーツ施策推進会議・幹事会合同会議 ・市スポーツ推進計画(改訂版)素案協議②
	令和2年1月8日	市スポーツ推進審議会 ・市スポーツ推進計画(改訂版)素案協議③
	令和2年1月22日	定例教育委員会 ・市スポーツ推進計画(改訂版)素案審議
	令和2年1月29日 ～2月17日	市スポーツ推進計画(改訂版) パブリックコメント実施
	令和2年3月17日	市スポーツ施策推進会議・幹事会合同会議(中止) ・パブリックコメントの結果報告(書面での報告)
	令和2年3月27日	市スポーツ推進審議会(中止) ・パブリックコメントの結果報告(書面での報告) ・計画(中間見直し)の決定(書面での承諾)
	令和2年3月末日	市スポーツ推進計画(中間見直し)策定

## ○宮崎市スポーツ推進審議会条例

昭和40年3月27日

条例第7号

改正 平成20年3月28日条例第1号

平成23年12月16日条例第48号

(設置)

第1条 スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第31条の規定に基づき、宮崎市スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)を設置する。

(委員)

第2条 審議会の委員は、10名以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

(1) 学識経験者

(2) 関係行政機関の職員

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長等)

第4条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選とする。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会は、会長が招集する。

2 会長は、会議の議長となる。

3 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

4 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第6条 この条例の施行について必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、昭和40年4月1日から施行する。

附 則(平成20年3月28日条例第1号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

(宮崎市スポーツ振興審議会条例の一部改正に伴う経過措置)

4 この条例の施行の際現に前項の規定による改正前の宮崎市スポーツ振興審議会条例(以下「旧条例」という。)の規定により委嘱され、又は任命されている委員は、同項の規定による改正後の宮崎市スポーツ振興審議会条例の規定により委嘱され、又は任命された委員とみなし、その任期は、旧条例の規定により委嘱され、又は任命された日から起算する。

附 則(平成23年12月16日条例第48号)

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の際現に改正前の宮崎市スポーツ振興審議会条例(以下「旧条例」という。)の規定により委嘱され、又は任命されている委員は、改正後の宮崎市スポーツ推進審議会条例の規定により委嘱され、又は任命された委員とみなし、その任期は、旧条例の規定により委嘱され、又は任命された日から起算する。

## ○宮崎市スポーツ施策推進会議設置要綱

### (目的)

第1条 本市のスポーツ推進施策を中心として、市民の運動・スポーツ推進に関する施策を総合的に推進し、市内における連絡調整を図るため、宮崎市スポーツ施策推進会議(以下「推進会議」という。)を設置する。

### (所掌事務)

第2条 推進会議の所掌事務は、次に掲げる事項とする。

- (1)「宮崎市スポーツ推進計画」の推進に関すること。
- (2)「宮崎市スポーツ推進計画」の進捗状況の点検と公表に関すること。
- (3)「宮崎市スポーツ推進計画」の策定に関すること。
- (4)宮崎市のスポーツ施策について関係部門相互間の総合調整に関すること。

### (組織及び役員)

第3条 推進会議は、別表1に掲げる職にある者を委員として組織する。

- 2 推進会議に会長を置く。
- 3 会長は、観光商工部長の職にある者をもって充てる。

### (会議)

第4条 推進会議は、会長が召集し、議事を進める。

- 2 委員が出席できないときは、当委員の指名する者が代理して出席することができる。

### (関係者の出席)

第5条 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

### (幹事会)

第6条 推進会議に第2条の所掌事務に関する具体的事項を審議検討させるため、幹事会を置く。

- 2 幹事会は、幹事長及び幹事をもって組織する。
- 3 幹事長は、スポーツランド推進課長の職にある者をもって充てる。
- 4 幹事は、別表2に掲げる職にある者をもって充てる。
- 5 幹事会は、必要に応じて幹事長が招集し、議事を進める。

### (庶務)

第7条 推進会議及び幹事会の庶務は、観光商工部スポーツランド推進課において処理する。

### (委任)

第8条 この要綱の定めるもののほか、推進会議の運営に関し、必要な事項は、会長が別に定める。

附則

この要綱は、平成26年2月13日から施行する。

附則

この要綱は、平成26年7月3日から施行する。

附則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

<別表1>

宮崎市スポーツ施策推進会議委員名簿	
会 長	観光商工部長
委 員	企画財政部長
委 員	地域振興部長
委 員	福祉部長
委 員	健康管理部長
委 員	都市整備部長
委 員	教育局長

<別表2>

宮崎市スポーツ施策推進会議幹事会名簿	
幹事長	スポーツランド推進課長
幹 事	企画政策課長
幹 事	地域コミュニティ課長
幹 事	観光戦略課長
幹 事	障がい福祉課長
幹 事	長寿支援課長
幹 事	介護保険課長
幹 事	健康支援課長
幹 事	公園緑地課長
幹 事	教育委員会 学校教育課長



## 宮崎市スポーツ推進計画【中間見直し】

編集・発行 宮崎市

発行年月 令和2年3月

お問合せ先 〒880-8505 宮崎市橘通西1丁目1番1号  
宮崎市観光商工部 スポーツランド推進課

TEL 0985-20-5151

FAX 0985-20-5171

E-mail [17kankou@city.miyazaki.miyazaki.jp](mailto:17kankou@city.miyazaki.miyazaki.jp)